

目標年度  
令和12年度

# 奈良県果樹農業振興計画書

令和3年3月作成

奈良県

## 目 次

第1	果樹農業の振興に関する方針	
	(1) 基本的な考え方	1
	(2) 果樹の種類別の振興方針	4
第2	栽培面積その他果実の生産の目標	6
第3	その区域の自然的経済的条件に応ずる近代的な果樹園経営の指標	
	(1) 栽培に適する自然的条件	7
	(2) 近代的な果樹園経営の指標	
	(ア) 目標とすべき10a当たりの生産量、労働時間	8
	(イ) 近代的な果樹園経営の営農類型	9
第4	土地改良、その他生産基盤整備に関する事項	10
第5	果実の集荷、貯蔵又は販売の共同化その他果実の流通の合理化に関する事項	11
第6	果実加工の合理化に関する事項	12
第7	その他必要な事項	13
	(参考) 県内果樹経営の指標関係資料	
	(1) 県内果樹経営のモデル指標	
	1 かきとうめ	15
	2 かき(露地+ハウス)+うめ	17
	3 かきとうめ+キウイフルーツ	19
	4 かきとうめ+もも	21
	5 かきとうめ+すもも	23
	6 かきとうめ+ブルーベリー	25
	7 なし専作	27
	8 ぶどう専作(市場出荷主体)	29
	9 いちじく専作	31

(2) 作業別作業手段、労働時間等

1	かき（富有：露地）	3 3
2	かき（刀根早生：露地）	3 4
3	かき（刀根早生：普通加温）	3 5
4	かき（刀根早生：早期加温）	3 6
5	うめ	3 7
6	なし（幸水・豊水：無袋）	3 8
7	なし（幸水・豊水：有袋）	3 9
8	なし（二十世紀：有袋）	4 0
9	ぶどう（デラウェア：無加温）市場出荷主体	4 1
10	ぶどう（デラウェア：普通加温）市場出荷主体	4 2
11	ぶどう（巨峰：無加温）直売主体	4 3
12	ぶどう（巨峰：普通加温）直売主体	4 4
13	うんしゅうみかん	4 5
14	もも	4 6
15	すもも	4 7
16	キウイフルーツ	4 8
17	おうとう	4 9
18	いちじく（露地）	5 0
19	いちじく（無加温）	5 1
20	ブルーベリー	5 2

## 第1 果樹農業の振興に関する方針

### (1) 基本的な考え方

本県の果樹は、恵まれた自然条件と都市に近い立地条件のもと、落葉果樹を中心に生産がなされている。

平成30年(2018年)現在、果実の農業産出額は71億円で、本県の農業産出額407億円の17%を占めている。また、栽培面積(平成28年度)は2,551haで耕地面積21,258haの12%を占める重要な作目となっている。

主な生産品目はかき、ぶどう、なし、うめ等で、五條吉野地域をはじめとする果樹生産地域における基幹作目となっている。

特に、五條吉野地域を中心に生産されているかきについては、本県果実の農業産出額の75%(53億円)を占め、本県農業を牽引するリーディング品目である。一方、本県の特産品としてニーズがあり、将来性が期待されるものとしていちじく、さくらんぼ(おうとう)をチャレンジ品目としている。

果樹農業の振興は、意欲ある担い手が取り組むリーディング品目とチャレンジ品目に加えて、うめやぶどう等実需者からニーズのある品目を中心に施策を講じる。

また、生産現場と関係する各分野(流通・加工・販売・消費・輸出等)との連携を強化し、消費者・実需者のニーズに対応した高品質果実の安定生産を推進することで、物流や商流、情報等の好循環を形成する。

以上により、本県果樹農業者の経営安定に繋げる。

次の項目を本県における果樹農業の振興における基本方針として推進する。

#### 1) 産地構造改革計画の取り組み支援

産地ごとの特性や意向を踏まえて目指すべき具体的な姿(目標)を定めた「果樹産地構造改革計画」について、果樹農業振興基本方針(令和2年4月30日公表)に即し、導入すべき新品種・新技術、6次産業化や高付加価値化に向けた取り組み等を盛り込んだ新たな産地計画の策定を推進する。

#### 2) 担い手の育成・確保

認定農業者や認定新規就農者を中心に、農業後継者・定年帰農者・他産業からの参入者・作業受託の担い手等の育成・確保に努めるとともに、組織活動の強化、法人化への取り組みを支援する。また、果樹農業における女性の参画は果樹経営に重要な役割を果たしているため、果樹農業への女性参画を一層推進する。

#### 3) 次世代への円滑な経営継承

認定新規就農者や農業後継者といった次世代の担い手が、未収益期間を経ることなく、樹体を含めた優良園地と経営をセットで継承できる体制づくりを推進する。

#### 4) 雇用労働力の確保

地域外や他産地からの労働力の確保、外国人労働力の活用や農福連携の取り組みも含め、多様な労働力の確保に向けた対策を推進する。

5) 新品種・新技術の導入

適地適作を基本とし、新品種・新技術の導入等による高品質果実の安定生産を推進するとともに、多様な消費者・実需者ニーズに対応した品目・品種構成への転換を図る。また、労働生産性の向上、作業の省力・軽労化を目的として、現在、かんきつ、なし、ぶどう等の主要果樹で開発・実用化が進んでいる省力樹形や実用化が進みつつあるドローンによる農薬散布技術等のスマート農業機器を用いた作業体系の導入を推進する。

6) 水田転換果樹の導入

水田の有効利用を図り、荒廃農地発生の未然防止が期待できることから、野菜の複合経営や水稻の集落営農組織に対し、水田でも栽培が可能ないちじく等の導入を推進する。

7) 計画的な改植および園地整備の推進

老木園・不良園等の改植及び改植に必要な大苗の共同育成、傾斜の緩和や園内道整備等を中心とした園地整備を推進する。

8) 園地集積・集約化の推進

(公財)なら担い手・農地サポートセンターや人・農地プラン実質化の取り組みを活用し、担い手への園地集積・集約化を推進する。

9) 生産基盤の整備の推進

本県果実の高付加価値化を図るとともに、作業の省力化及び生産・流通コストの低減を図るために、近代化施設や農道等の生産基盤の整備を推進する。

10) 生産資材の安定確保

果樹の安定生産に欠かせない生産資材である苗木と花粉の供給状況を整理し、将来に渡ってそれらを計画的・安定的に確保していくための方針を検討する。

11) 契約取引および加工の推進

計画的な生産・販売のため、契約取引の増加や果実貯蔵・加工の体制整備等を推進する。

12) 6次産業化の推進

果実の生産、加工および販売を一体的に行う6次産業化の取り組みを推進する。

13) 本県産果実のブランド化の推進

品質に着目した奈良県農畜水産物ブランド認証制度を活用し、本県産果実のレベルアップ、イメージアップを図る。また、地域ブランドを知的財産として保護する地理的表示保護制度や、果実に含まれる機能性成分・栄養成分をアピールできる機能性表示食品制度および栄養機能食品制度の活用を推進する。

14) 食育の推進

果物は毎日の食生活に取り入れるべきものであることを啓発する（毎日くだもの200グラム運動）とともに、出前授業等を活用した食育を推進する。

15) 災害等の様々なリスクへの対応

霜害、干ばつ、病虫害及び有害野生鳥獣等の被害を最小限とするため、気象災害防止設備の整備、鳥獣の特性に応じた対策および関係機関と連携した被害防止体制の一層の充実を図る。また、経営安定を図るセーフティネット措置として農業保険（収入保険および果樹共済）への加入を誘導する。

16) 輸出の拡大

経済発展により富裕層が増加しているアジア地域等をターゲットとし、本県産果実の輸出拡大を推進する。

17) 新品種・新技術の開発

永年作物である果樹は、育種に期間を要することから、消費者・実需者ニーズを的確に捉えた育種目標を策定し、品種開発を進める。また、地球温暖化等の気候変動による栽培環境の変化に対応できる技術などの開発を進める。

(2) 果樹の種類別の振興方針

対象果樹の種類	振 興 の 方 針
かき	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 大苗を用いた計画的な改植を推進し、早期成園化および品種・樹齢構成の適正化を図る。</li> <li>3 ブランド認証制度や地理的表示保護制度等の活用により、「奈良の柿」ブランドの一層の強化を図る。</li> <li>4 輸出等、新規市場を開拓する取り組みを推進する。</li> <li>5 ハウス柿生産における収穫時期予測法の開発および普及を推進し、収益の向上を図る。</li> <li>6 選果場の運営改善に向け、稼働率の向上、選果システムの省人化、集出荷施設の再編整備、出荷規格の見直し等を推進する。</li> <li>7 園内作業の省力化、機械化を目的とした既成園の生産基盤の整備を推進する。</li> <li>8 意欲ある担い手の育成・確保、担い手への優良園地の集積を図る。また、労働力の安定確保のための体制の整備を推進する。</li> <li>9 柿渋原料等の新たな用途の開発、新たな加工品の開発を推進する。</li> <li>10 経営安定のための補完品目として、柿葉栽培の導入を推進する。</li> </ol>
うめ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 計画的な改植を推進し、品種構成の適正化を図る。</li> <li>3 既成園の園内道の整備や傾斜緩和を推進し、機械化、省力化を図る。</li> <li>4 産地の実情に応じた集出荷施設および加工施設の整備を図る。</li> <li>5 加工品開発や観光資源としての活用を図る。</li> </ol>
なし	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 環境保全型農業を推進する。</li> <li>3 優良品種の導入を推進する。</li> <li>4 ブランド認証制度により、ブランド力の強化を図る。</li> <li>5 観光果樹園や産直体制等、販売体制の整備を推進する。</li> </ol>
ぶどう	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 計画的な改植を推進し、品種および樹齢構成の適正化を図る。</li> <li>3 優良品種の導入を推進する。</li> <li>4 燃油費節減対策の推進により、生産コストの削減を図る。</li> </ol>
くり	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 観光資源としての活用を図る。</li> </ol>

対象果樹の種類	振 興 の 方 針
うんしゅうみかん	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 計画的な改植を推進し、優良品種への更新と収穫期の分散を図る。</li> <li>3 観光果樹園の充実や多様な販売手法の導入を推進する。</li> </ol>
中晩柑類 (はっさく、不知火、はるみ等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 優良品目（不知火、はるみ等）への更新を推進し、販売期間の延長および販路の多様化を図る。</li> </ol>
もも	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 品種および樹齢構成の適正化を図る。</li> </ol>
すもも	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底や品種構成の適正化による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 経営安定のための省力管理可能な品目として導入を推進する。</li> <li>3 生産組織の育成および販売体制の整備を推進する。</li> </ol>
キウイフルーツ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 経営安定のための省力管理可能な品目として導入を推進する。</li> <li>3 生産組織の育成および販売体制の整備を推進する。</li> </ol>
りんご	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 地域の特色を活かした直売品目として有利販売を推進する。</li> </ol>
びわ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> </ol>
おうとう	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 観光果樹園の充実や多様な販売方法の導入を推進する。</li> </ol>
いちじく	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 水田転換果樹として導入を推進する。</li> <li>3 収穫期分散のための新品種の導入を検討する。</li> <li>4 規格外果実を有効利用するための加工品開発を推進する。</li> <li>5 施設栽培（無加温）の導入拡大により収益向上を図る。</li> </ol>
ブルーベリー	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> <li>2 加工品開発や観光資源としての活用を図る。</li> <li>3 観光果樹園の充実や多様な販売手法の導入を推進する。</li> </ol>
さんしょう	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栽培管理の徹底による高品質果実の安定生産を推進する。</li> </ol>



## 第2 栽培面積と果実の生産目標

対象果樹の種類	平成29年度		平成30年度		令和12年度			
	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	栽培面積 (ha)	生産量 (t)	現状比(%)	
							栽培面積	生産量
かき	1,775	32,800	1,764	28,300	1,680	31,130	95	102
うめ	224	1,910	209	1,590	230	2,840	110	162
なし	69	1,611	68	1,496	63	1,449	93	93
ぶどう	66	681	59	802	58	870	98	117
くり	52	37	51	32	31	20	61	58
もも	15	134	14	112	12	97	86	79
すもも	13	37	13	44	14	54	108	133
キウイフルーツ	11	199	11	167	11	198	100	108
りんご	4	58	4	57	3	45	75	78
びわ	1	5	1	4	1	4	100	89
おうとう	1	1	1	1	1	1	100	100
小計	2,231	37,473	2,195	32,605	2,104	36,708	96	105
うんしゅうみかん	47	439	47	454	47	470	100	105
その他のかんきつ								
はっさく	9	228	7	179	7	179	100	88
不知火	1	9	1	13	3	45	300	409
はるみ	1	5	1	8	3	27	300	415
その他(スダチ・柚)	6	21	6	23	5	18	83	83
小計	64	702	62	677	65	739	105	107
その他果実								
いちじく	27	489	27	505	28	507	104	102
ブルーベリー	9	17	9	16	8	14	89	85
さんしょう	6	15	8	20	8	20	100	114
小計	42	521	44	541	44	541	100	102
合計	2,337	38,696	2,301	33,823	2,213	37,988	96	105

注1 平成29年度、平成30年度の欄は農林水産統計及び県調べの数値。

注2 令和12年度との現状比については、栽培面積は平成30年度比、生産量は平成29年度と平成30年度の平均に対する比率とする。

### 第3 その区域の自然的経済的条件に応ずる近代的な果樹園経営の指標

#### (1) 栽培に適する自然的条件

対象果樹の種類		平均気温		冬の最低極温	低温要求時間	降水量 (4月1日～10月31日)	気象災害を防ぐための基準
		年	4～10月				
かき	渋	10℃以上	16℃以上	-15℃以上	800時間以上		枝折れを防ぐため、新梢伸長期に強風を受けやすい園地での植栽は避けること。 新梢の枯死を防ぐため、発芽・展葉期において降霜が少ないこと。
	甘	13℃以上	19℃以上	-13℃以上			
うめ		7℃以上	15℃以上	-15℃以上			幼果は霜害を受けやすいので、幼果期に降霜が少ないこと。
なし		7℃以上	13℃以上	-20℃以上	800時間以上 (幸水)	1200mm以下 (二十世紀)	花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
ぶどう	デラウェア	7℃以上	14℃以上	-20℃以上		1600mm以下	枝枯れや樹の倒壊を防ぐため、凍害及び雪害を受けやすい北向きの傾斜地での植栽は避けること。 着色系品種については、水回り期から収穫期の平均気温が27℃以上の場合、環状剥皮処理等の着色対策を施す。
	巨峰			-15℃以上	500時間以上	1200mm以下	
くり		7℃以上	15℃以上	-15℃以上			新梢の枯死を防ぐため、展葉期において降霜が少ないこと。
かんきつ類	うんしゅうみかん	15℃以上 18℃以下					腐敗果の発生や品質低下を防ぐため、11月から収穫前において降霜が少ないこと。
	はっさく	15.5℃以上					
	不知火・はるみ	16℃以上					
	ゆず	13℃以上		-7℃以上			傷害果や病害果の発生を防ぐため、強風を受けやすい園地での植栽は避けること。
もも		9℃以上	15℃以上	-15℃以上	1000時間以上	1300mm以下	花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。 病害を防ぐため、強風を受けやすい園地での植栽は避けること。
すもも		7℃以上	15℃以上	-18℃以上	1000時間以上		花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
キウイフルーツ		12℃以上	19℃以上	-7℃以上			新梢の枯死を防ぐため、発芽・展葉期において降霜が少ないこと。 枝折れを防ぐため、新梢伸長期に強風を受けやすい園地での植栽は避けること。 病害を防ぐため、強風を受けやすい園地での植栽は避けること。
りんご		6℃以上 14℃以下	13℃以上 21℃以下	-25℃以上	1400時間以上	1300mm以下	花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
びわ		15℃以上		-3℃以上 耐寒性品種については -5℃以上			傷害果や病害果の発生を防ぐため、強風を受けやすい園地での植栽は避けること。
おうとう		7℃以上 15℃以下	14℃以上 21℃以下	-15℃以上	1400時間以上	1300mm以下	花器・幼果の障害を防ぐため、蕾から幼果期において降霜が少ないこと。
いちじく		15℃以上	19℃以上	-5℃以上			新梢の枯死を防ぐため、発芽・展葉期において降霜が少ないこと。
ブルーベリー	ラビッドアイ系	13℃以上	-	-10℃以上			
	ハイブッシュ系	8℃以上	-	-20℃以上			

- (注) 1. 表中に品種の記載がある場合にあっては当該品種、それ以外にあっては一般に普及している品種及び栽培方法によるものとする。  
 2. 最低極温とは、当該果樹の植栽地における1年を通して最も低い気温である。  
 3. かんきつ類の果樹については、冬の最低極温を下回る日が10年に1回又は2回程度発生しても差し支えないものとする。  
 4. 低温要求時間とは、当該地域の気温が7.2℃以下になる期間の延べ時間である。

(2) 近代的な果樹園経営の指標

(ア) 目標とすべき 10a 当たり生産量、労働時間

対象果樹の種類		10a当たり 生産量(kg)	10a当たり 労働時間(時間)	摘要
かき	刀根早生			
	早期加温	3,000	208	加温施設栽培・中型スピードスプレーヤー
	普通加温	3,500	215	加温施設栽培・中型スピードスプレーヤー
	露地	3,000	137	中型スピードスプレーヤー
	富有	2,300	106	中型スピードスプレーヤー
うめ	白加賀	1,800	79	中型スピードスプレーヤー
なし	二十世紀(有袋)	3,000	353	中型スピードスプレーヤー
	幸水・豊水(有袋)	3,000	340	
	幸水・豊水(無袋)	3,000	303	
ぶどう	デラウェア			
	普通加温	1,500	327	加温施設栽培
	無加温	1,500	319	施設栽培
	巨峰			
	普通加温	1,400	404	加温施設栽培
	無加温	1,400	394	施設栽培
うんしゅうみかん	興津早生	2,800	139	
もも	白鳳	2,200	249	中型スピードスプレーヤー
すもも	大石早生	1,500	204	中型スピードスプレーヤー
キウイフルーツ	ヘイワード	3,200	146	中型スピードスプレーヤー
おうとう	佐藤錦、高砂	500	490	雨よけ施設栽培
いちじく	榊井ドーフィン			
	無加温	2,900	509	施設栽培
	露地	2,700	447	
ブルーベリー	ホームベル	850	587	ネット栽培

## (イ) 近代的な果樹園経営の営農類型

五條吉野地域のかきを中心とした産地については、担い手への農地集積、雇用労力の有効活用、高性能管理機械の導入ならびに品種構成および補完品目の最適化等により、大規模かつ効率的な農業経営が行われている。また、生産性の低下が懸念される老木園の計画的な改植を念頭においた園地管理が行われている。

なし、ぶどう、もも産地のほか、大和平野地域や大和高原地域等の果樹産地については、上述に準じた効率的な農業経営が行われているほか、都市に近い立地条件を活かした直売や観光果樹園を経営に取り入れているところもある。

今後も、果樹の農業経営の向上を目指して、巻末のモデル指標を参考に近代的な果樹園経営に向け指導、支援を行うものとする。

## 第4 土地改良、その他生産基盤の整備に関する事項

果樹農業を振興するうえで、効率的な資本投入や低コスト化等による生産性の高い農業経営を実現する果樹団地の形成は重要な課題である。これまで、国営総合農地開発事業により、五条吉野地区には13団地、計526haの農地造成に加え、用排水施設、農道の整備を行い、かきやうめが大規模に植栽された結果、全国屈指の産地を形成するに至った。また、その他の国営総合農地開発事業や県営事業により、県内の果樹農業の基盤整備を進めてきたところである。

個々の農業経営においては、国庫補助事業等を活用して、運搬車や防除機等の機械導入を可能にする園内作業道の整備のほか、傾斜の緩和、用排水対策等の樹園地の整備が行われている。また、関連事業を活用しながら関係機関が一体となって、担い手への優良樹園地の集積化も行われてきたところである。

今後も、生産性が高く効率的な果樹農業を営む産地を育成するため、地域の実情に応じ、生産基盤の整備を推進するものとする。

### 五条吉野地区国営総合農地開発事業の概要

事業期間：昭和49年度～平成13年度
事業費：51,723百万円
関係市町村：五條市（旧五條市、旧西吉野村）、下市町
受益面積：1,663ha（造成面積526ha、植栽面積425ha、畑地かんがい1,137ha）
事業の経過 昭和49年4月：開発基本計画決定 昭和51年：農地造成開始（御山団地） 平成4年1月：一の木ダム着工 平成5年3月：農地造成完了（13団地） 平成9年11月：一の木ダム完成 平成14年3月：事業完了
事業導入による柿産地の変化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽面積の約8割を柿が占め、柿の栽培面積が飛躍的に増加した。</li> <li>・農地造成が進むと同時に優良早生渋柿品種である「刀根早生」が品種登録され、造成園への新植が進み主力品種へと発展した。</li> <li>・農地造成園は区画が広く緩傾斜で機械導入が容易であり、スピードスプレーヤー等の導入により省力化が図られ規模拡大が可能となった。</li> <li>・農地造成13団地にはスプリンクラーが設置され、干ばつ害防止や果実肥大促進に効果を発揮している。</li> <li>・既成園においても各所に設置された給水スタンドの利用により、防除用水や干ばつ時のかん水用水の確保が容易になった。</li> </ul>

## 第5 果実の集荷、貯蔵又は販売の共同化その他果実の流通の合理化に関する事項

かき、うめについては、奈良県農業協同組合等により共同出荷、販売が実施されている。かきは京浜市場を中心に全国各地へ向けて出荷されている。うめは、出荷量の約7割が加工業者へ販売されており、市場出荷は京阪神市場主体に行われている。

柿選果場については、選果処理能力や精度の向上のための選果設備の更新が行われ、選果・出荷能力の向上が実現している。今後は「奈良の柿」ブランドの強化のため、より高度な選別機能の導入を含め、集出荷施設の運営改善・整備を図る。

その他の品目については、産地の集団化と連携を進め、近郊市場での販売力の強化及び安定的、継続的な出荷を推進する。加えて、地域の特色を活かした観光果樹園の育成、地域内直売所や学校給食向けの供給等、地産地消に取り組めるよう、地域内流通の体制整備を図るものとする。

県内のかき・うめの選果場の稼働状況

### 1. かき

(単位:t・%)

選果場名	品種名	計画年度 目標数量	平成30年	稼働率	令和元年	稼働率	令和12年	稼働率
五條市 統合選果場 (計画年度：H10)	中谷早生	-	86	-	102	-	100	-
	刀根早生	1,360	1,176	86%	1,182	87%	1,200	88%
	平核無	253	278	110%	284	112%	250	99%
	富有	2,075	800	39%	1,165	56%	500	24%
	計	3,688	2,340	63%	2,733	74%	2,050	56%
西吉野 柿選果場 (計画年度：H28)	ハウス柿	500	395	79%	466	93%	400	80%
	中谷早生	100	167	167%	198	198%	200	200%
	刀根早生	5,500	6,223	113%	6,438	117%	6,000	109%
	平核無	1,500	1,640	109%	1,474	98%	2,000	133%
	富有	4,500	4,290	95%	5,394	120%	5,000	111%
	計	12,100	12,715	105%	13,970	115%	13,600	112%
<b>合計</b>	<b>15,788</b>	<b>15,055</b>	<b>95%</b>	<b>16,703</b>	<b>106%</b>	<b>15,650</b>	<b>99%</b>	

※富有には松本早生富有を含む

### 2. うめ

(単位:t・%)

選果場名	品種名	計画年度 目標数量	平成30年	稼働率	令和元年	稼働率	令和12年	稼働率
西吉野 (計画年度：H20)	白加賀 南高等	1,900	1,005	53%	810	43%	1,500	79%
下市	白加賀 南高等	-	70	-	39	-	-	-

## 第6 果実加工の合理化に関する事項

本県産果実については、かきやうめを主とした加工品が生産されており、規格外果実の有効利用や、生食用果実の価格安定に寄与している。また、果実生産と加工、流通・販売を一体的に行う6次産業化において、加工は付加価値を高めるために重要である。

近年、食の簡便化や多様化により、果実加工品の需要は増加傾向である。さらに、食の安全・安心志向の進展から、国産の加工原料用果実の需要はより一層高まると考えられる。

そこで、加工原料用果実の高品質化・安定供給を推進するため、ブルーベリーやいちじく等について、加工適性の高い品種の導入や幅広い実需者・消費者ニーズに対応した加工品の開発、生産拡大および施設整備、6次産業化の取り組みを推進する。

果樹の用途別出荷量の見通し

対象 果樹	平成29年度					平成30年度					令和12年度				
	生産量 (t)	出荷量(t)				生産量	出荷量(t)				生産量	出荷量(t)			
		計	生食	加工	輸出		計	生食	加工	輸出		計	生食	加工	輸出
かき	32,800	30,800	30,649	104	47	28,300	26,800	26,654	106	40	31,130	28,670	28,433	137	100
	100%	94%	93.4%	0.3%	0.1%	100%	95%	94.2%	0.4%	0.1%	100%	92%	90.8%	0.4%	0.3%
うめ	1,910	1,810	670	1,140	0	1,590	1,510	527	983	0	2,840	2,755	1,041	1,714	0
	100%	95%	35.1%	59.7%	0.0%	100%	95%	33.1%	61.8%	0.0%	100%	97%	36.7%	60.4%	0.0%

※うめの「生食」は「青梅」として出荷したもの

※生産量、出荷量は農林水産統計、出荷量内訳は県調べ

## 第7 その他必要な事項

### (1) 生産指導の強化

行政、試験研究機関、普及組織および関係団体が連携し、新技術の開発と普及に努める。また、各関係機関は、作柄や病害虫の発生や気象状況を速やかに把握し、情報を共有して、一体的な生産指導を行う。

### (2) 新たな担い手の育成

なら食と農の魅力創造国際大学校や農業専攻課程を有する高等学校等での教育を通じ、幅広い視野と知識や行動力を備えた、将来の産地を担う担い手を育成する。

### (3) 優良品種・系統の育成

新品種の育成や生産現場における有望な系統の発掘、育成を行い、産地への早期導入を図る。

### (4) 環境保全型農業の推進

土作りと施肥の適正化に努めるとともに、化学農薬のみに頼らず、様々な防除技術を組み合わせたIPM技術の導入を図り、環境負荷を低減した環境保全型農業に取り組む。

### (5) 安全・安心な果実生産

消費者に信頼される安全・安心な果実を提供するため、農薬の適正使用と生産履歴記帳に取り組み、将来的にはGAP（農業生産工程管理）の取り組みを推進する。



## (参考) 県内果樹経営の指標関係資料

(1) 県内果樹経営のモデル指標

(2) 作業別作業手段、労働時間等

類型名	かき+うめ	調査機関	農業水産振興課
1. 前提条件			
適用地域	五條・吉野地域	経営面積	田 a (内、施設面積 a)
			畑 a (内、施設面積 a)
家族労働力	3.0人		樹園地 500 a (内、施設面積 a)
経営の特徴	カキの補完作物としてウメを導入し労力分散を図る。カキ・ウメとも全量共選共販。 スピードスプレーヤー等機械の導入により省力化を図る。		

2. 土地利用体系 (★: 発芽、△: 摘蕾・摘果、☆: 開花、■: 収穫、×: 剪定)

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	12ヶ月																						
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月											
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下											
渋柿(刀根早生)	100	100	×××	×××	-	★	-	△△	△☆	-	-	-	△△△	-	-	-	■	■	■	-	-	-	-		
渋柿(平核無)	30	30	-	-	×××	-	★	-	△△	△☆	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	
甘柿(富有)	200	200	-	-	×××	×××	★	-	△△	△☆	-	-	-	△△	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■
甘柿(松本早生富有)	30	30	-	-	×××	×××	★	-	△△	△☆	-	-	-	△△	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	
うめ	100	100	-	-	-	☆☆	★	-	-	-	-	-	■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	×××	
渋柿(刀根早生優良系統)	40	40	×××	×××	-	★	-	△△	△☆	-	-	-	△△△	-	-	-	■	■	■	-	-	-	-	-	

3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
渋柿(刀根早生)	1,370	126	117	24	220	110	13	193	34	88	442	0	3
渋柿(平核無)	412	6	67	7	35	64	4	59	9	4	78	78	1
甘柿(富有)	2,120	50	162	288	40	410	30	149	189	32		760	10
甘柿(松本早生富有)	321	8	23	43	6	62	5	24	27	7	57	57	2
うめ	785	1	1	6	36	26	481	1	1	0	0	1	231
渋柿(刀根早生優良系統)	548	51	46	10	88	44	5	78	13	212	0	0	1
合計	5,556	242	416	378	425	716	538	504	273	343	577	896	248

4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別							
かき+うめ			渋柿 (刀根早生)	渋柿 (平核無)	甘柿 (富有)	甘柿(松本 早生富有)	うめ	渋柿(刀根早 生優良系統)		
栽培面積	a	500	100	30	200	30	100	40		
10aあたりの収量			3,000	3,000	2,300	2,000	1,800	3,000		
単価(円/kg)			182	169	217	226	153	233		
粗収 益	主産物粗収益	円	23,874,550	5,460,000	1,521,900	9,982,000	1,354,650	2,760,000	2,796,000	
	副産物粗収益	円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他収益	円	0	0	0	0	0	0	0	
	粗収益合計	円	23,874,550	5,460,000	1,521,900	9,982,000	1,354,650	1,760,000	2,796,000	
変動費	種苗費	円	0	0	0	0	0	0	0	
	肥料費	円	1,552,140	280,500	84,150	604,600	90,690	380,000	112,200	
	農薬剤費	円	947,056	151,680	45,504	437,000	65,550	186,650	60,672	
	諸材料費	円	175,200	39,000	11,700	78,000	11,700	19,200	15,600	
	光熱動力費	円	193,206	40,468	12,140	78,976	11,846	33,588	16,188	
	小農具費	円	229,466	46,134	13,840	92,267	13,840	44,934	18,454	
	出荷販売経費	円	5,319,470	1,448,700	434,610	2,221,340	289,740	345,600	579,480	
	出荷手数料	円	2,126,786	518,700	144,582	948,300	128,694	120,890	265,620	
	共済掛け金	円	295,245	83,167	24,893	116,558	17,417	19,830	33,238	
	雇用労賃	円	739,886	147,977	44,393	295,954	44,393	147,977	59,191	
	支払地代	円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他変動費	円	758,000	125,000	37,500	294,370	44,130	207,000	50,000	
	変動費計	円	12,336,455	2,881,326	853,312	5,167,365	718,000	1,505,669	1,210,643	
固定費	機械	減価償却費	円	1,476,225	299,910	89,972	599,818	89,972	276,588	119,965
		修繕費	円	343,947	70,096	21,029	140,191	21,029	63,566	28,039
	施設	減価償却費	円	193,548	38,710	11,613	77,419	11,613	38,710	15,484
		修繕費	円	120,000	24,000	7,200	48,000	7,200	24,000	9,600
	大植物	減価償却費	円	1,296,138	234,444	70,083	523,333	78,500	296,000	93,778
		減価償却費計	円	2,965,911	573,064	171,668	1,200,570	180,085	611,298	229,227
		修繕費計	円	463,947	94,096	28,229	188,191	28,229	87,566	37,639
	固定費計	円	3,429,858	667,160	199,997	1,388,761	208,314	698,864	266,866	
	経営費合計	円	15,766,313	3,548,486	1,053,209	6,556,126	926,314	2,204,533	1,477,509	
	限界利益(粗収益-変動費)	円	11,538,095	2,578,674	668,588	4,814,635	636,650	1,254,331	1,585,357	
	所得	円	8,108,237	1,911,514	468,691	3,425,874	428,336	555,467	1,318,491	
	10aあたりの所得	円	162,165	191,151	156,230	171,294	142,779	55,547	329,623	
	所得率		34.0%	35.0%	30.8%	34.3%	31.6%	20.1%	47.2%	
	所得+減価償却費	円	11,074,148	2,484,578	640,359	4,626,444	608,421	1,166,765	1,547,718	
	家族労働1h当たり所得	円	1,628	総労働時間(h)	5,556	家族労働時間(h)	4,982	雇用労働時間(h)	574	

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	円	年	円	円	
トラック(2t)	2t	1	2,778,000	2,778,000	5	555,600	4%	111,120
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
スピードスプレーヤー	24ps、600L	1	3,150,000	3,150,000	7	450,000	4%	126,000
可搬型動力噴霧機	4.7ps	2	300,556	601,112	7	85,873	4%	24,044
運搬車(クローラ)	歩行型、4.2ps、400kg積み	1	350,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
動力剪定機	バッテリー充電式	1	235,000	235,000	7	33,571	4%	9,400
乗用モア	17.1ps、刈り幅80cm	1	653,000	653,000	7	93,286	4%	26,120
合計						1,476,225		343,947

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	年	円	円	
倉庫・作業舎	鉄骨造	100㎡	6,000,000	31	193,548	2%	120,000
合計						193,548	120,000

大植物	品種	栽培面積	取得価格	耐用年数	減価償却費	
		a	円	年	円	
カキ	刀根早生	140	11,816,000	36	328,222	
カキ	平核無	30	2,523,000	36	70,083	
カキ	富有	200	18,840,000	36	523,333	
カキ	松本早生富有	30	2,826,000	36	78,500	
ウメ	白加賀	100	7,789,500	25	296,000	
合計						1,296,138

類型名	かき(露地+ハウス)+うめ	調査機関	農業水産振興課
-----	---------------	------	---------

### 1. 前提条件

適用地域	五條・吉野地域	経営面積	田	a	(内、施設面積	a)
家族労働力	3.0 人		畑	a	(内、施設面積	a)
経営の特徴	基幹の露地柿にハウス柿、ウメを組み合わせることで労力分散を図る。 スピードスプレーヤー等機械の導入により省力化を図る。					

### 2. 土地利用体系 (★: 発芽、△: 摘蕾・摘果、☆: 開花、■: 収穫、×: 剪定)

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	12ヶ月											
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
かき普通加温 (刀根早生)	30	30	× × ×	★ ★	△ △ ☆	---	△ △	---	---	---	■ ■ ■	---	---	---
渋柿(刀根早生)	120	120	× × ×	× × ×	---	★	---	△ △ ☆	---	△ △ △	---	■ ■ ■	---	---
渋柿(平核無)	30	30	---	× × ×	---	★	---	△ △ ☆	---	△ △	---	---	■	---
甘柿(富有)	140	140	---	× × ×	× × ×	★	---	△ △ ☆	---	△ △	---	---	■ ■ ■	---
甘柿 (松本早生富有)	30	30	---	× × ×	× × ×	★	---	△ △ ☆	---	△ △	---	---	■ ■	---
うめ	90	90	---	---	☆ ☆ ★	---	---	---	■ ■ ■	---	---	---	---	× × ×

### 3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
かき普通加温 (刀根早生)	655	189	3	83	13	58	48	36	116	85	3	3	18
渋柿(刀根早生)	1,644	156	136	28	142	254	16	232	40	238	398	0	4
渋柿(平核無)	412	6	67	7	35	64	4	59	9	4	78	78	1
甘柿(富有)	1,484	35	114	201	28	287	21	105	133	21		532	7
甘柿 (松本早生富有)	307	7	26	41	6	62	5	23	28	5	34	68	2
うめ	708	1	1	6	33	23	432	1	1	1	1	1	207
合計	5,210	394	347	366	257	748	526	456	327	354	514	682	239

4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別							
かき(露地+ハウス) +うめ			かき普通加温 (刀根早生)	渋柿 (刀根早生)	渋柿 (平核無)	甘柿 (富有)	甘柿(松本 早生富有)	うめ		
栽培面積	a	440	30	120	30	140	30	90		
10aあたりの収量			3,500	3,000	3,000	2,300	2,000	1,800		
単価(円/kg)			669	197	169	217	226	153		
粗収 益	主産物粗収益	円	26,471,350	7,020,600	7,102,800	1,521,900	6,987,400	1,354,650	2,484,000	
	副産物粗収益	円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他収益	円	0	0	0	0	0	0	0	
	粗収益合計	円	26,471,350	7,020,600	7,102,800	1,521,900	6,987,400	1,354,650	2,484,000	
変動費	種苗費	円	0	0	0	0	0	0	0	
	肥料費	円	1,340,410	63,750	336,600	84,150	423,220	90,690	342,000	
	農薬剤費	円	797,279	30,324	182,016	45,504	305,900	65,550	167,985	
	諸材料費	円	371,880	229,800	46,800	11,700	54,600	11,700	17,280	
	光熱動力費	円	1,051,147	885,309	50,853	12,696	57,922	12,402	31,966	
	小農具費	円	229,466	15,690	62,981	15,690	73,364	15,690	46,056	
	出荷販売経費	円	4,835,813	507,045	1,738,440	434,610	1,554,938	289,740	311,040	
	出荷手数料	円	2,387,616	666,957	674,772	144,582	663,810	128,694	108,801	
	共済掛け金	円	333,529	112,699	83,242	20,842	81,597	17,428	17,847	
	雇用労賃	円	501,421	34,097	136,888	34,097	159,452	34,097	102,791	
	支払地代	円	0	0	0	0	0	0	0	
その他変動費	円	650,300	30,000	150,000	37,500	203,016	43,484	186,300		
	変動費計	円	12,498,861	2,575,671	3,462,592	841,371	3,577,819	709,475	1,332,066	
固定費	機械	減価償却費	円	2,102,526	728,364	409,539	102,063	477,090	102,063	283,502
		修繕費	円	519,311	199,222	95,726	23,858	111,517	23,858	65,155
	施設	減価償却費	円	943,548	763,161	52,839	13,161	61,548	13,161	39,677
		修繕費	円	330,000	218,160	32,760	8,160	38,160	8,160	24,600
	大植物	減価償却費	円	1,132,982	70,333	281,333	70,083	366,333	78,500	266,400
		減価償却費計	円	4,179,056	1,561,858	743,711	185,307	904,971	193,724	589,579
		修繕費計	円	849,311	417,382	128,486	32,018	149,677	32,018	89,755
	固定費計	円	5,028,367	1,979,240	872,197	217,325	1,054,648	225,742	679,334	
	経営費合計	円	17,527,228	4,554,911	4,334,789	1,058,696	4,632,467	935,217	2,011,400	
	限界利益(粗収益-変動費)	円	13,972,489	4,444,929	3,640,208	680,529	3,409,581	645,175	1,151,934	
	所得	円	8,944,122	2,465,689	2,768,011	463,204	2,354,933	419,433	472,600	
	10aあたりの所得	円	203,276	821,896	230,668	154,401	168,210	139,811	52,511	
	所得率		33.8%	35.1%	39.0%	30.4%	33.7%	31.0%	19.0%	
	所得+減価償却費	円	13,123,178	4,027,547	3,511,722	648,511	3,259,904	613,157	1,062,179	
	家族労働1h当たり所得	円	1,855	総労働時間(h)	5,210	家族労働時間(h)	4,821	雇用労働時間(h)	389	

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用 年数	減価償却費	修繕 費率	修繕費
			円	円		円		円
トラック(2t)	2t	1	2,778,000	2,778,000	5	555,600	4%	111,120
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
スピードスプレーヤー	24ps,600L	1	3,150,000	3,150,000	7	450,000	4%	126,000
可搬型動力噴霧機	4.7ps	2	300,556	601,112	7	85,873	4%	24,044
運搬車(クローラ)	歩行型、4.2ps、400kg積み	1	350,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
動力剪定機	バッテリー充電式	1	235,000	235,000	7	33,571	4%	9,400
乗用モーター	17.1ps、刈り幅80cm	1	653,000	653,000	7	93,286	4%	26,120
温風暖房機-10	400坪用	3	1,461,370	4,384,110	7	626,301	4%	175,364
	合計					2,102,526		519,311

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用 年数	減価償却費	修繕 費率	修繕費
			円		円		円
倉庫・作業舎	鉄骨造	100㎡	6,000,000	31	193,548	2%	120,000
柿ハウス	APタイプ	30a	10,500,000	14	750,000	2%	210,000
	合計				943,548		330,000

大植物	品種	栽培 面積	取得価格	耐用 年数	減価償却費
		a	円		年
カキ	刀根早生	150	12,660,000	36	351,666
カキ	平核無	30	2,523,000	36	70,083
カキ	富有	140	13,188,000	36	366,333
カキ	松本早生富有	30	2,826,000	36	78,500
ウメ	白加賀	90	7,010,500	25	266,400
	合計				1,132,982

類型名	かき+うめ+キウイフルーツ	調査機関	農業水産振興課
-----	---------------	------	---------

### 1. 前提条件

適用地域	五條・吉野地域	経営面積	田	a	(内、施設面積	a)
家族労働力	3.0人		畑	a	(内、施設面積	a)
経営の特徴	基幹作物のカキにウメ、キウイフルーツを補完作物として組み合わせ労力分散を図る。 スピードスプレヤー等機械の導入により省力化を図る。					

### 2. 土地利用体系

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	12ヶ月																				
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月									
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
渋柿(刀根早生)	100	100	-	-	×	×	×	-	-	-	★	-	-	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	-
渋柿(平核無)	30	30	-	-	-	×	×	×	-	-	★	-	-	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	-
甘柿(富有)	120	120	-	-	-	×	×	×	×	×	★	-	-	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	-
甘柿(松本早生富有)	40	40	-	-	-	×	×	×	×	×	★	-	-	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	-
うめ	90	90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×
キウイフルーツ	30	30	-	-	-	-	-	-	-	-	★	-	-	-	☆	-	△	-	-	-	-	-	

### 3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
渋柿(刀根早生)	1,370	132	111	23	222	108	14	192	35	222	308	0	3
渋柿(平核無)	412	6	67	7	35	64	4	59	9	4	78	78	1
甘柿(富有)	1,272	30	98	172	24	246	18	90	114	18	0	456	6
甘柿(松本早生富有)	436	10	37	65	8	82	6	29	39	6	68	84	2
うめ	708	1	1	6	33	23	432	1	1	1	1	1	207
キウイフルーツ	439	14	12	3	17	45	90	74	7	3	3	70	102
合計	4,637	193	326	276	339	568	564	445	205	254	458	689	321

4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別					
かきとうめ+キウイフルーツ			渋柿 (刀根早生)	渋柿 (平核無)	甘柿 (富有)	甘柿(松本 早生富有)	うめ	キウイフルーツ
栽培面積	a	410	100	30	120	40	90	30
10aあたりの収量			3,000	3,000	2,300	2,000	1,800	3,200
単価(円/kg)			182	169	217	226	153	403
粗収益								
主産物粗収益	円	21,130,100	5,460,000	1,521,900	5,989,200	1,806,200	2,484,000	3,868,800
副産物粗収益	円	0	0	0	0	0	0	0
その他収益	円	0	0	0	0	0	0	0
粗収益合計	円	21,130,100	5,460,000	1,521,900	5,989,200	1,806,200	2,484,000	3,868,800
変動費								
種苗費	円	0	0	0	0	0	0	0
肥料費	円	1,284,860	280,500	84,150	362,760	120,920	342,000	94,530
農薬剤費	円	785,347	151,680	45,504	262,200	87,400	167,985	70,578
諸材料費	円	162,720	39,000	11,700	46,800	15,600	17,280	32,340
光熱動力費	円	169,149	43,523	13,043	51,066	17,045	33,006	11,534
小農具費	円	229,466	56,663	16,960	68,042	22,744	49,732	15,538
出荷販売経費	円	4,197,634	1,448,700	434,610	1,332,804	386,320	311,040	284,160
出荷手数料	円	1,860,847	518,700	144,582	568,980	171,592	108,801	348,192
共済掛金	円	219,207	83,175	24,985	69,900	23,300	17,847	0
雇用労賃	円	252,644	61,645	18,443	74,025	24,759	55,582	18,443
支払地代	円	0	0	0	0	0	0	0
その他変動費	円	637,300	125,000	37,500	188,250	62,750	186,300	37,500
変動費計	円	9,799,174	2,808,586	831,477	3,024,827	932,430	1,289,573	912,815
固定費								
機械								
減価償却費	円	1,476,225	369,620	110,563	443,821	148,402	304,247	100,955
修繕費	円	343,947	86,561	25,891	103,937	34,752	69,922	23,201
施設								
減価償却費	円	367,051	42,503	12,716	51,039	17,071	38,323	205,573
修繕費	円	180,000	29,280	8,760	35,160	11,760	26,400	68,760
大植物								
減価償却費	円	1,105,094	234,444	70,083	314,000	104,667	266,400	115,500
減価償却費計	円	2,948,370	646,567	193,362	808,860	270,140	608,970	422,028
修繕費計	円	523,947	115,841	34,651	139,097	46,512	96,322	91,961
固定費計	円	3,472,317	762,408	228,013	947,957	316,652	705,292	513,989
経営費合計	円	13,271,491	3,570,994	1,059,490	3,972,784	1,249,082	1,994,865	1,426,804
限界利益(粗収益-変動費)	円	11,330,926	2,651,414	690,423	2,964,373	873,770	1,194,427	2,955,985
所得	円	7,858,609	1,889,006	462,410	2,016,416	557,118	489,135	2,441,996
10aあたりの所得	円	191,673	188,901	154,137	168,035	139,280	54,348	813,999
所得率		37.2%	34.6%	30.4%	33.7%	30.8%	19.7%	63.1%
所得+減価償却費	円	10,806,979	2,535,573	655,772	2,825,276	827,258	1,098,105	2,864,024
家族労働1h当たり所得	円	1,770	総労働時間(h)	4,637	家族労働時間(h)	4,441	雇用労働時間(h)	196

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	円	年	円	円	
トラック(2t)	2t	1	2,778,000	2,778,000	5	555,600	4%	111,120
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
スピードスプレーヤー	24ps, 600L	1	3,150,000	3,150,000	7	450,000	4%	126,000
可搬型動力噴霧機	4.7ps	2	300,556	601,112	7	85,873	4%	24,044
運搬車(クローラ)	歩行型, 4.2ps, 400kg積み	1	378,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
動力剪定機	バッテリー充電式	1	235,000	235,000	7	33,571	4%	9,400
乗用モア	17.1ps, 刈り幅80cm	1	653,000	653,000	7	93,286	4%	26,120
合計						1,476,225		343,947

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	年	円	円	
倉庫・作業舎	鉄骨造	100㎡	6,000,000	31	174,194	2%	120,000
果樹棚(キウイ)		30a	3,000,000	14	192,857	2%	60,000
合計					367,051		180,000

大植物	品種	栽培面積	取得価格	耐用年数	減価償却費
		a	円	年	円
カキ	刀根早生	100	8,440,000	36	234,444
カキ	平核無	30	2,523,000	36	70,083
カキ	富有	120	11,304,000	36	314,000
カキ	松本早生富有	40	3,768,000	36	104,667
ウメ	白加賀	90	6,660,000	25	266,400
キウイフルーツ	ハイワード	30	2,541,000	22	115,500
合計					1,105,094

類型名	かき+うめ+もも	調査機関	農業水産振興課
-----	----------	------	---------

### 1. 前提条件

適用地域	五條・吉野地域	経営面積	田	a	(内、施設面積	a)
家族労働力	3.0 人		畑	a	(内、施設面積	a)
経営の特徴	基幹作物のカキにウメ、モモを補完作物として組み合わせ労力分散を図る。 スピードスプレーヤー等機械の導入により省力化を図る。					

### 2. 土地利用体系

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	12ヶ月														
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
			上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下			
渋柿(刀根早生)	100	100	×××	×××	--★	-△△△☆	-	-	-	△△△	-	-	■	■	-	-	-
渋柿(平核無)	30	30	-	×××	--★	-△△△☆	-	-	-	△	-	-	-	■	■	-	-
甘柿(富有)	160	160	-	×××	×××	★	-△△△☆	-	-	-	△△	-	-	-	■	■	■
甘柿(松本早生富有)	40	40	-	×××	×××	★	-△△△☆	-	-	-	△△	-	-	-	■	■	-
うめ	60	60	-	-	☆☆★	-	-	-	■	■	■	-	-	-	-	-	×××
もも	40	40	-	-	××△△☆	★	-△△△	-	-	■	■	■	-	-	-	-	-

### 3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
渋柿(刀根早生)	1,370	126	117	24	220	110	13	193	34	88	442	0	3
渋柿(平核無)	412	6	67	7	35	64	4	59	9	4	78	78	1
甘柿(富有)	1,696	40	130	230	32	328	24	120	150	26	0	608	8
甘柿(松本早生富有)	424	11	30	58	8	82	7	31	36	6	53	99	3
うめ	471	1	1	4	22	15	288	1	1	0	0	0	138
もも	996	1	37	125	3	244	167	288	93	12	26	0	0
合計	5,369	185	382	448	320	843	503	692	323	136	599	785	153



4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別					
かき+うめ+もも			渋柿 (刀根早生)	渋柿 (平核無)	甘柿 (富有)	甘柿(松本 早生富有)	うめ	もも
栽培面積	a	430	100	30	160	40	60	40
10aあたりの収量			3,000	3,000	2,300	2,000	1,800	2,200
単価(円/kg)			182	169	217	226	153	409
粗収益								
主産物粗収益	円	22,026,660	5,460,000	1,521,900	7,985,600	1,806,200	1,656,000	3,596,960
副産物粗収益	円	0	0	0	0	0	0	0
その他収益	円	0	0	0	0	0	0	0
粗収益合計	円	22,026,660	5,460,000	1,521,900	7,985,600	1,806,200	1,656,000	3,596,960
変動費								
種苗費	円	0	0	0	0	0	0	0
肥料費	円	1,401,610	280,500	89,550	483,680	120,920	204,960	204,000
農薬剤費	円	845,558	151,680	45,504	349,600	87,400	111,990	99,384
諸材料費	円	272,220	39,000	11,700	62,400	15,600	11,520	132,000
光熱動力費	円	180,910	42,760	12,834	66,792	16,698	21,542	20,354
小農具費	円	229,466	53,802	16,163	85,904	21,475	31,454	20,894
出荷販売経費	円	4,446,062	1,448,700	434,610	1,777,072	386,320	207,360	192,000
出荷手数料	円	1,989,776	518,700	144,582	758,640	171,592	72,534	323,728
共済掛金	円	236,558	83,175	24,985	93,200	23,300	11,898	0
雇用労賃	円	716,684	166,987	50,168	266,606	66,652	100,336	66,652
支払地代	円	0	0	0	0	0	0	0
その他変動費	円	629,200	125,000	37,500	234,000	58,500	124,200	50,000
変動費計	円	10,948,044	2,928,304	867,596	4,177,894	968,457	897,794	1,109,012
固定費								
機械								
減価償却費	円	1,476,225	350,491	105,295	559,697	139,901	193,611	128,613
修繕費	円	343,947	81,967	24,624	130,900	32,718	44,496	29,557
施設								
減価償却費	円	193,548	45,097	13,548	72,000	18,000	27,097	18,000
修繕費	円	120,000	27,960	8,400	44,640	11,160	16,800	11,160
大植物								
減価償却費	円	1,348,928	234,444	70,083	418,667	104,667	177,600	343,467
減価償却費計	円	3,018,701	630,032	188,926	1,050,364	262,568	398,308	490,080
修繕費計	円	463,947	109,927	33,024	175,540	43,878	61,296	40,717
固定費計	円	3,482,648	739,959	221,950	1,225,904	306,446	459,604	530,797
経営費合計	円	14,430,692	3,668,263	1,089,546	5,403,798	1,274,903	1,357,398	1,639,809
限界利益(粗収益-変動費)	円	11,078,616	2,531,696	654,304	3,807,706	837,743	758,206	2,487,948
所得	円	7,595,968	1,791,737	432,354	2,581,802	531,297	298,602	1,957,151
10aあたりの所得	円	176,650	179,174	144,118	161,363	132,824	49,767	489,288
所得率		34.5%	32.8%	28.4%	32.3%	29.4%	18.0%	54.4%
所得+減価償却費	円	10,614,669	2,421,769	621,280	3,632,166	793,865	696,910	2,447,231
家族労働1h当たり所得	円	1,578	総労働時間(h)	5,369	家族労働時間(h)	4,813	雇用労働時間(h)	556

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	円	年	円		円
トラック(2t)	2t	1	2,778,000	2,778,000	5	555,600	4%	111,120
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
スピードスプレーヤー	24ps, 600L	1	3,150,000	3,150,000	7	450,000	4%	126,000
可搬型動力噴霧機	4.7ps	2	300,556	601,112	7	85,873	4%	24,044
運搬車(クローラ)	歩行型, 4.2ps, 400kg積み	1	350,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
動力剪定機	バッテリー充電式	1	235,000	235,000	7	33,571	4%	9,400
乗用モア	17.1ps, 刈り幅80cm	1	653,000	653,000	7	93,286	4%	26,120
合計						1,476,225		343,947

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	年	円		円
倉庫・作業舎	鉄骨造	100㎡	6,000,000	31	193,548	2%	120,000
合計					193,548		120,000

大植物	品種	栽培面積	取得価格	耐用年数	減価償却費
		a	円	年	円
カキ	刀根早生	100	8,440,000	36	234,444
カキ	平核無	30	2,523,000	36	70,083
カキ	富有	160	15,072,000	36	418,667
カキ	松本早生富有	40	3,768,000	36	104,667
ウメ	白加賀	60	4,440,000	25	177,600
モモ	白鳳系・白桃系	40	5,152,000	15	343,467
合計					1,348,928

類型名	かき+うめ+すもも	調査機関	農業水産振興課
-----	-----------	------	---------

### 1. 前提条件

適用地域	五條・吉野地域	経営面積	田	a	(内、施設面積	a)
家族労働力	3.0人		畑	a	(内、施設面積	a)
経営の特徴	基幹作物のカキにウメ、スモモを補完作物として組み合わせ労力分散を図る。 スピードスプレヤー等機械の導入により省力化を図る。					

### 2. 土地利用体系

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	12ヶ月														
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
渋柿(刀根早生)	100	100	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
渋柿(平核無)	30	30	-	-	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
甘柿(富有)	120	120	-	-	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
甘柿(松本早生富有)	30	30	-	-	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
うめ	100	100	-	-	-	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
すもも(大石早生・貴陽)	20	20	×	×	×	-	-	-	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

### 3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
渋柿(刀根早生)	1,370	126	117	24	225	105	13	193	34	90	440		3
渋柿(平核無)	412	6	67	7	35	64	4	59	9	4	78	78	1
甘柿(富有)	1,274	30	98	172	24	246	18	90	114	20	114	342	6
甘柿(松本早生富有)	319	8	23	43	6	62	5	23	27	6	40	74	2
うめ	785	1	1	6	36	26	481	1	1			1	231
すもも(大石早生・貴陽)	408	72	1	10	34	66	118	81	19	2			5
合計	4,568	243	307	262	360	569	639	447	204	122	672	495	248

4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別					
かき+うめ+すもも			渋柿 (刀根早生)	渋柿 (平核無)	甘柿 (富有)	甘柿(松本 早生富有)	うめ	すもも(大石 早生・貴陽)
栽培面積	a	400	100	30	120	30	100	20
10aあたりの収量			3,000	3,000	2,300	2,000	1,800	1,500
単価(円/kg)			182	169	217	226	153	454
粗収益								
主産物粗収益	円	18,447,750	5,460,000	1,521,900	5,989,200	1,354,650	2,760,000	1,362,000
副産物粗収益	円	0	0	0	0	0	0	0
その他収益	円	0	0	0	0	0	0	0
粗収益合計	円	18,447,750	5,460,000	1,521,900	5,989,200	1,354,650	2,760,000	1,362,000
変動費								
種苗費	円	0	0	0	0	0	0	0
肥料費	円	1,254,980	280,500	84,150	362,760	90,690	380,000	56,880
農薬剤費	円	756,860	151,680	45,504	262,200	65,550	186,650	45,276
諸材料費	円	271,854	39,000	11,700	46,800	11,700	19,200	143,454
光熱動力費	円	170,528	43,940	13,182	51,552	12,888	35,900	13,066
小農具費	円	229,466	57,764	17,330	69,320	17,330	56,166	11,556
出荷販売経費	円	4,027,854	1,448,700	434,610	1,332,804	289,740	345,600	176,400
出荷手数料	円	1,597,616	518,700	144,582	568,980	128,694	120,890	115,770
共済掛金	円	215,365	83,175	24,985	69,900	17,475	19,830	0
雇用労賃	円	207,529	51,882	15,565	62,259	15,565	51,882	10,376
支払地代	円	0	0	0	0	0	0	0
その他変動費	円	624,500	125,000	37,500	177,200	44,300	207,000	33,500
変動費計	円	9,356,552	2,800,341	829,108	3,003,775	693,932	1,423,118	606,278
機械								
減価償却費	円	1,499,025	379,038	113,702	454,902	113,702	345,735	91,948
修繕費	円	348,507	88,782	26,632	106,553	26,632	79,457	20,451
施設								
減価償却費	円	336,405	48,387	14,516	58,064	14,516	48,387	152,534
修繕費	円	160,000	30,000	9,000	36,000	9,000	30,000	46,000
大植物								
減価償却費	円	1,136,777	234,444	70,083	314,000	78,500	296,000	143,750
減価償却費計	円	2,972,207	661,869	198,301	826,966	206,718	690,122	388,232
修繕費計	円	508,507	118,782	35,632	142,553	35,632	109,457	66,451
固定費計	円	3,480,714	780,651	233,933	969,519	242,350	799,579	454,683
経営費合計	円	12,837,266	3,580,992	1,063,041	3,973,294	936,282	2,222,697	1,060,961
限界利益(粗収益-変動費)	円	9,091,198	2,659,659	692,792	2,985,425	660,718	1,336,882	755,722
所得	円	5,610,484	1,879,008	458,859	2,015,906	418,368	537,303	301,039
10aあたりの所得	円	140,262	187,901	152,953	167,992	139,456	53,730	150,520
所得率		30.4%	34.4%	30.2%	33.7%	30.9%	19.5%	22.1%
所得+減価償却費	円	8,582,691	2,540,877	657,160	2,842,872	625,086	1,227,425	689,271
家族労働1h当たり所得	円	1,273	総労働時間(h)	4,568	家族労働時間(h)	4,407	雇用労働時間(h)	161

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	円	年	円		円
トラック(2t)	2t	1	2,778,000	2,778,000	5	555,600	4%	111,120
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
スピードスプレーヤー	24ps, 600L	1	3,150,000	3,150,000	7	450,000	4%	126,000
可搬型動力噴霧機	4.7ps	2	300,556	601,112	7	85,873	4%	24,044
運搬車(クローラ)	歩行型, 4.2ps, 400kg積み	1	350,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
動力剪定機	バッテリー充電式	1	235,000	235,000	7	33,571	4%	9,400
乗用モア	17.1ps, 刈り幅80cm	1	653,000	653,000	7	93,286	4%	26,120
重量選果機(スモモ)	分太II (TB-15II)	1	114,000	114,000	5	22,800	4%	4,560
合計						1,499,025		348,507

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	年	円		円
倉庫・作業舎	鉄骨造	100㎡	6,000,000	31	193,548	2%	120,000
果樹棚(スモモ)		20a	2,000,000	14	142,857	2%	40,000
合計					336,405		160,000

大植物	品種	栽培面積	取得価格	耐用年数	減価償却費
		a	円	年	円
カキ	刀根早生	100	8,440,000	36	234,444
カキ	平核無	30	2,523,000	36	70,083
カキ	富有	120	11,304,000	36	314,000
カキ	松本早生富有	30	2,826,000	36	78,500
ウメ	白加賀	100	7,400,000	25	296,000
すもも	大石早生・貴陽	20	2,300,000	16	143,750
合計					1,136,777

類型名	かきとうめ＋ブルーベリー	調査機関	農業水産振興課
-----	--------------	------	---------

### 1. 前提条件

適用地域	五條・吉野地域	経営面積	田	a	(内、施設面積	a)
家族労働力	3.0 人		畑	a	(内、施設面積	a)
経営の特徴	基幹作物のカキにウメ、ブルーベリーを補完作物として組み合わせ労力分散を図る。 スピードスプレー等機械の導入により省力化を図る。					

### 2. 土地利用体系

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下				
渋柿(刀根早生)	100	100	×	×	×	×	×	×	-	-	★	-	△	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	△	△	△	-	-	-	-	-	-	■	■	■	-	-	-		
渋柿(平核無)	30	30	-	-	-	×	×	×	-	-	★	-	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	-	-	-	-
甘柿(富有)	160	160	-	-	-	×	×	×	×	×	×	★	-	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-	-	-	-	-	■	■	■	-	-	-		
甘柿(松本早生富有)	40	40	-	-	-	×	×	×	×	×	×	★	-	△	△	☆	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-	-	-	-	-	■	■	-	-	-	-		
うめ	60	60	-	-	-	-	-	-	☆	☆	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×
ブルーベリー	40	40	×	×	×	×	×	×	-	-	-	-	★	-	☆	☆	-	-	-	-	-	-	■	■	■	■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

### 3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
渋柿(刀根早生)	1,370	126	117	24	220	110	13	193	34	88	442	0	3
渋柿(平核無)	412	6	67	7	35	64	4	59	9	4	78	78	1
甘柿(富有)	1,696	40	130	230	32	328	24	120	150	26	0	608	8
甘柿(松本早生富有)	408	11	30	58	8	82	7	31	36	6	45	91	3
うめ	471	1	1	4	16	21	288	1	1	0	0	0	138
ブルーベリー	2,356	56	58	5	17	85	17	841	1,245	29	1	1	1
合計	6,713	240	403	328	328	690	353	1,245	1,475	153	566	778	154

4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別						
かきとうめ+ブルーベリー			渋柿 (刀根早生)	渋柿 (平核無)	甘柿 (富有)	甘柿(松本 早生富有)	うめ	ブルーベリー	
栽培面積	a	430	100	30	160	40	60	40	
10aあたりの収量			3,000	3,000	2,300	2,000	1,800	850	
単価(円/kg)			182	169	217	226	153	1,480	
粗 収 益	主産物粗収益	円	23,461,700	5,460,000	1,521,900	7,985,600	1,806,200	1,656,000	5,032,000
	副産物粗収益	円	0	0	0	0	0	0	0
	その他収益	円	0	0	0	0	0	0	0
	粗収益合計	円	23,461,700	5,460,000	1,521,900	7,985,600	1,806,200	1,656,000	5,032,000
変 動 費	種苗費	円	0	0	0	0	0	0	0
	肥料費	円	1,245,950	279,500	83,850	483,680	120,920	228,000	50,000
	農薬剤費	円	746,174	151,680	45,504	349,600	87,400	111,990	0
	諸材料費	円	181,620	39,000	11,700	62,400	15,600	11,520	41,400
	光熱動力費	円	168,429	41,150	12,351	64,216	16,054	20,846	13,882
	小農具費	円	293,800	70,904	21,309	113,327	28,377	41,747	18,333
	出荷販売経費	円	4,379,182	1,448,700	434,610	1,777,072	386,320	207,360	125,120
	出荷手数料	円	1,666,048	518,700	144,582	758,640	171,592	72,534	0
	共済掛金	円	236,558	83,175	24,985	93,200	23,300	11,898	0
	雇用労賃	円	2,490,348	364,008	109,323	582,654	145,363	0	1,289,000
	支払地代	円	0	0	0	0	0	0	0
	その他変動費	円	629,200	125,000	37,500	234,000	58,500	124,200	50,000
	変動費計	円	12,037,309	3,121,817	925,714	4,518,789	1,053,426	830,095	1,587,735
	固 定 費	機械	円	1,476,225	375,595	112,935	601,173	150,816	208,891
修繕費		円	343,947	87,974	26,452	140,824	35,330	48,152	5,269
施設		円	336,405	45,097	13,548	72,000	18,000	27,097	160,857
修繕費		円	140,000	27,960	8,400	44,640	11,160	16,800	31,160
大植物		円	1,088,501	234,444	70,083	418,667	104,667	177,600	83,040
減価償却費計		円	2,901,131	655,136	196,566	1,091,840	273,483	413,588	271,003
修繕費計		円	483,947	115,934	34,852	185,464	46,490	64,952	36,429
固定費計	円	3,385,078	771,070	231,418	1,277,304	319,973	478,540	307,432	
経営費合計	円	15,422,387	3,892,887	1,157,132	5,796,093	1,373,399	1,308,635	1,895,167	
限界利益(粗収益-変動費)	円	11,424,391	2,338,183	596,186	3,466,811	752,774	825,905	3,444,265	
所得	円	8,039,313	1,567,113	364,768	2,189,507	432,801	347,365	3,136,833	
10aあたりの所得	円	186,961	156,711	121,589	136,844	108,200	57,894	784,208	
所得率		34.3%	28.7%	24.0%	27.4%	24.0%	21.0%	62.3%	
所得+減価償却費	円	10,940,444	2,222,249	561,334	3,281,347	706,284	760,953	3,407,836	
家族労働1h当たり所得	円	1,682	総労働時間(h)	6,713	家族労働時間(h)	4,781	雇用労働時間(h)	1,932	

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用 年数	減価償却費	修繕 費率	修繕費
			円	円	年	円	円	
トラック(2t)	2t	1	2,778,000	2,778,000	5	555,600	4%	111,120
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
スピードスプレーヤー	24ps, 600L	1	3,150,000	3,150,000	7	450,000	4%	126,000
可搬型動力噴霧機	4.7ps	2	300,556	601,112	7	85,873	4%	24,044
運搬車(クローラ)	歩行型, 4.2ps, 400kg積み	1	350,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
動力剪定機	バッテリー充電式	1	235,000	235,000	7	33,571	4%	9,400
乗用モア	17.1ps, 刈り幅80cm	1	653,000	653,000	7	93,286	4%	26,120
合計						1,476,225		343,947

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用 年数	減価償却費	修繕 費率	修繕費
			円	年	円	円	
倉庫・作業舎	鉄骨造	100㎡	6,000,000	31	193,548	2%	120,000
防鳥ネット支柱	パイプハウス骨材	40a	1,000,000	7	142,857	2%	20,000
合計					336,405		140,000

大植物	品種	栽培 面積	取得価格	耐用 年数	減価償却費
		a	円	年	円
カキ	刀根早生	100	8,440,000	36	234,444
カキ	平核無	30	2,523,000	36	70,083
カキ	富有	160	15,072,000	36	418,667
カキ	松本早生富有	40	3,768,000	36	104,667
ウメ	白加賀	60	4,440,000	25	177,600
ブルーベリー		40	2,185,300	25	83,040
合計					1,088,501

類型名	なし専作	調査機関	農業水産振興課
-----	------	------	---------

### 1. 前提条件

適用地域	五條・吉野地域		経営面積	田	a	(内、施設面積	a)	
				畑	a	(内、施設面積	a)	
家族労働力	3.0	人		樹園地	80	a	(内、施設面積	a)
経営の特徴	<p>大阿太高原での栽培を想定。  幸水、豊水及び新高は全量直売。二十世紀は2割を市場出荷し、残りは直売。  全ての品種において袋掛けを実施。  スピードスプレーヤー等機械の導入により省力化を図る。</p>							

### 2. 土地利用体系

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
なし(幸水・豊水)	20	20	×	×	×	-	-	-	-	-	-	★	△	☆	-	-	-	△	△	△	-	-	-	-	-	-	■	■	■	-	-	-	-	-	-	×	×	×
なし(二十世紀)	50	50	×	×	×	-	-	-	-	-	-	★	△	☆	-	△	△	△	△	△	-	-	-	-	-	-	■	■	■	-	-	-	-	-	-	×	×	×
なし(新高)	10	10	×	×	×	-	-	-	-	-	-	★	△	☆	-	-	-	△	△	△	-	-	-	-	-	-	■	■	-	-	-	-	-	-	×	×	×	

### 3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
なし(幸水・豊水)	680	37	38	38	89	59	123	39	98	103	5	8	43
なし(二十世紀)	1,766	86	83	86	110	523	150	94	11	475	3	0	145
なし(新高)	341	19	19	17	46	30	59	21	2	4	96	4	24
合計	2,787	142	140	141	245	612	332	154	111	582	104	12	212

4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別			
なし専作			なし (幸水・豊水)	なし (二十世紀)	なし (新高)	
栽培面積	a	80	20	50	10	
10aあたりの収量			3,000	3,000	3,000	
単価(円/kg)			600	660	600	
粗収益	主産物粗収益	円 15,300,000	3,600,000	9,900,000	1,800,000	
	副産物粗収益	円 0	0	0	0	
	その他収益	円 0	0	0	0	
	粗収益合計	円 15,300,000	3,600,000	9,900,000	1,800,000	
変動費	種苗費	円 0	0	0	0	
	肥料費	円 393,450	104,840	233,300	55,310	
	農薬剤費	円 334,277	89,818	199,550	44,909	
	諸材料費	円 1,756,200	286,800	1,272,000	197,400	
	光熱動力費	円 144,192	30,768	98,040	15,384	
	小農具費	円 145,733	36,433	91,083	18,214	
	出荷販売経費	円 716,720	179,180	447,950	89,590	
	出荷手数料	円 472,500	0	472,500	0	
	共済掛け金	円 0	0	0	0	
	雇用労賃	円 79,918	19,980	49,949	9,990	
	支払地代	円 0	0	0	0	
	その他変動費	円 32,000	8,000	20,000	4,000	
	変動費計	円 4,074,990	755,819	2,884,372	434,800	
	固定費	機械 減価償却費	円 1,279,752	319,940	799,845	159,969
修繕費		円 333,383	83,346	208,364	41,673	
施設 減価償却費		円 1,160,000	290,001	725,000	145,000	
修繕費		円 266,400	66,600	166,500	33,300	
大植物 減価償却費		円 395,538	97,077	252,692	45,769	
減価償却費計		円 2,835,290	707,018	1,777,537	350,738	
修繕費計		円 599,783	149,946	374,864	74,973	
固定費計	円 3,435,073	856,964	2,152,401	425,711		
経営費合計	円 7,510,063	1,612,783	5,036,773	860,511		
限界利益(粗収益-変動費)	円 11,225,010	2,841,603	7,015,628	1,365,200		
所得	円 7,789,937	1,987,217	4,863,227	939,489		
10aあたりの所得	円 973,742	993,609	972,645	939,489		
所得率	50.9%	55.2%	49.1%	52.2%		
所得+減価償却費	円 10,625,227	2,694,235	6,640,764	1,290,227		
家族労働1h当たり所得	円 2,859	総労働時間(h) 2,787	家族労働時間(h) 2,725	雇用労働時間(h) 62		

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	円		円		円
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
乗用トラック(20ps)	20ps、140cm巾	1	2,010,000	2,010,000	7	287,143	4%	80,400
スピードスプレーヤー	24ps・600L	1	3,150,000	3,150,000	7	450,000	4%	126,000
重量選果機	3000個/hr	1	842,000	842,000	7	120,286	4%	33,680
小型管理機	6.3ps	1	263,000	263,000	7	37,571	4%	10,520
運搬車(クローラ)	歩行型、4.2ps、400kg積み	1	350,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
乗用モア	17.1ps、刈り幅80cm	1	653,000	653,000	7	93,286	4%	26,120
動力剪定機	バッテリー充電式	1	235,000	235,000	7	33,571	4%	9,400
合計						1,279,752		333,383

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円		円		円
倉庫・作業舎	木造	50㎡	3,000,000	15	200,000	2%	60,000
果樹棚(ナン)		80a	7,200,000	14	514,286	2%	144,000
スプリンクラー		80a	1,600,000	7	228,571	2%	32,000
黄色蛍光灯設備	LEDタイプ	80a	1,520,000	7	217,143	2%	30,400
合計					1,160,000		266,400

大植物	品種	栽培面積	取得価格	耐用年数	減価償却費
		a	円		円
ナン	幸水	10	1,255,000	26	48,269
ナン	豊水	10	1,269,000	26	48,808
ナン	二十世紀	50	6,570,000	26	252,692
ナン	新高	10	1,190,000	26	45,769
合計					395,538

類型名	ぶどう専作(市場出荷主体)	調査機関	農業水産振興課
-----	---------------	------	---------

1. 前提条件

適用地域	金剛・生駒山麓地域		経営面積	田	a	(内、施設面積	a)
				畑	a	(内、施設面積	a)
家族労働力	3.0	人		樹園地	150	a	(内、施設面積
経営の特徴	傾斜地での波状型ハウスによるぶどう栽培。加温中心地域で出荷組合を組織し、奈良・京都・大阪市場へ共選出荷。						

2. 土地利用体系

品目・作型名	栽培面積(a)	延べ面積(a)	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月					
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
加温(巨峰)	50	50				★			☆	△	△	△	△	△				■	■	■																×	×				
加温(デラウェア)	80	80					★		△	☆								■	■																	×	×				
無加温(デラウェア)	20	20								★		△	☆					■	■	■																			×	×	

3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
加温(巨峰)	2,020	240	96	452	374	125	500	3	56	3	41	52	78
加温(デラウェア)	2,632	360	157	609	246	68	832	72	32	0	64	104	88
無加温(デラウェア)	643		80	31	164	67	3	208	18	8	8	18	38
合計	5,295	600	333	1,092	784	260	1,335	283	106	11	113	174	204



4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別						
ぶどう専作 (市場出荷主体)			加温 (巨峰)	加温 (デラウェア)	無加温 (デラウェア)				
栽培面積	a	150	50	80	20				
10aあたりの収量			1,400	1,500	1,500				
単価(円/kg)			1,410	1,041	710				
粗収益	主産物粗収益	円	24,492,000	9,870,000	12,492,000	2,130,000			
	副産物粗収益	円	0	0	0	0			
	その他収益	円	0	0	0	0			
	粗収益合計	円	24,492,000	9,870,000	12,492,000	2,130,000			
変動費	種苗費	円	0	0	0	0			
	肥料費	円	453,225	151,075	241,720	60,430			
	農薬剤費	円	573,600	204,600	295,200	73,800			
	諸材料費	円	1,201,605	418,135	669,016	114,454			
	光熱動力費	円	4,788,822	2,102,698	2,677,551	8,563			
	小農具費	円	70,533	23,488	37,594	9,381			
	出荷販売経費	円	1,390,316	352,400	828,480	209,436			
	出荷手数料	円	1,714,440	690,900	874,440	149,100			
	共済掛金	円	0	0	0	0			
	雇用労賃	円	1,321,225	439,968	704,213	175,723			
	支払地代	円	0	0	0	0			
	その他変動費	円	0	0	0	0			
		変動費計	円	11,513,766	4,383,264	6,328,214	800,887		
固定費	機械	減価償却費	円	2,663,880	1,248,337	1,132,065	282,863		
		修繕費	円	720,938	341,227	303,681	75,884		
	施設	減価償却費	円	2,900,000	965,700	1,545,700	385,700		
		修繕費	円	660,000	219,780	351,780	87,780		
	大植物	減価償却費	円	904,001	324,667	463,467	115,867		
		減価償却費計	円	6,467,881	2,538,704	3,141,232	784,430		
		修繕費計	円	1,380,938	561,007	655,461	163,664		
	固定費計	円	7,848,819	3,099,711	3,796,693	948,094			
	経営費合計	円	19,362,585	7,482,975	10,124,907	1,748,981			
	限界利益(粗収益-変動費)	円	12,978,234	5,486,736	6,163,786	1,329,113			
	所得	円	5,129,415	2,387,025	2,367,093	381,019			
	10aあたりの所得	円	341,961	477,405	295,887	190,510			
	所得率		20.9%	24.2%	18.9%	17.9%			
	所得+減価償却費	円	11,597,296	4,925,729	5,508,325	1,165,449			
	家族労働1h当たり所得	円	1,201	総労働時間(h)	5,295	家族労働時間(h)	4,270	雇用労働時間(h)	1,025

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	円		円		円
可搬型動力噴霧機	4.7ps、ホース・リール付	1	300,556	300,556	7	42,937	4%	12,022
小型管理機	6.3ps	1	263,000	263,000	7	37,571	4%	10,520
結束機	0.25w	1	430,000	430,000	7	61,429	4%	17,200
保冷库-1	1坪	2	750,000	1,500,000	7	214,286	4%	60,000
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
運搬車(クローラ)	歩行型、4.2ps、400kg積み	1	350,000	350,000	7	50,000	4%	14,000
温風暖房機-15	15万kcal	4	1,760,370	7,041,480	7	1,005,926	4%	281,659
温風暖房機-10	10万kcal	5	1,461,370	7,306,850	7	1,043,836	4%	292,274
	合計					2,663,880		720,938

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円		円		円
倉庫・作業舎	木造	50㎡	3,000,000	15	200,000	2%	60,000
ブドウ波状型ハウス	ブドウ棚を含む	150a	30,000,000	10	2,700,000	2%	600,000
	合計				2,900,000		660,000

大植物	品種	栽培面積	取得価格	耐用年数	減価償却費
		a	円		円
ブドウ	巨峰	50	4,870,000	15	324,667
ブドウ	デラウェア	100	8,690,000	15	579,334
	合計				904,001

類型名	いちじく専作	調査機関	農業水産振興課
-----	--------	------	---------

### 1. 前提条件

適用地域	大和平野地域	経営面積	田	80 a	(内、施設面積	50 a)
家族労働力	3.0 人		畑	a	(内、施設面積	a)
			樹園地	a	(内、施設面積	a)
経営の特徴	樹井ドーフィンの開心自然形とし、熟期促進処理を行う。 平坦部水田の転換果樹として導入。全量市場出荷。					

### 2. 土地利用体系

品目・作型名	栽培面積 (a)	延べ面積 (a)	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
いちじく(加温)	20	20	-	-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■	■	■	■	■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	-	-	-	-
いちじく(無加温)	30	30	-	-	-	-	-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■	■	■	■	■	■	■	-	-	-	-	-	-	×	×	×
いちじく(露地)	30	30	-	-	-	×	×	×	-	-	-	★	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	■	■	■	■	■	■	■	■	-	-	-	-	-	-	-

### 3. 品目・作型別労働時間(経営全体)

(時間)

品目・作型名	年計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
いちじく(加温)	1,084	12	54	33	75	205	279	267	7	7	6	118	21
いちじく(無加温)	1,540	36	67	96	25	41	91	233	373	308	118	42	110
いちじく(露地)	1,353	24	96	6	70	30	69	60	378	369	219	32	0
合計	3,977	72	217	135	170	276	439	560	758	684	343	192	131

4. 品目・作型別経営収支(経営全体)

類型名		経営全体	品目・作型別						
いちじく専作			いちじく (加温)	いちじく (無加温)	いちじく (露地)				
栽培面積	a	80	20	30	30				
10aあたりの収量			3,200	2,900	2,700				
単価(円/kg)			1,151	531	469				
粗収益	主産物粗収益	円	15,783,300	7,363,200	4,619,400	3,800,700			
	副産物粗収益	円	0	0	0	0			
	その他収益	円	0	0	0	0			
	粗収益合計	円	15,783,300	7,363,200	4,619,400	3,800,700			
変動費	種苗費	円	0	0	0	0			
	肥料費	円	295,016	73,754	110,631	110,631			
	農薬剤費	円	183,504	45,876	68,814	68,814			
	諸材料費	円	1,011,180	427,380	502,800	81,000			
	光熱動力費	円	2,330,136	2,268,054	50,481	11,601			
	小農具費	円	83,033	20,758	31,138	31,138			
	出荷販売経費	円	1,413,785	389,000	530,205	494,580			
	出荷手数料	円	1,104,831	515,424	323,358	266,049			
	共済掛け金	円	80,215	32,086	48,129	0			
	雇用労賃	円	194,639	0	97,320	97,320			
	支払地代	円	0	0	0	0			
	その他変動費	円	29,006	8,000	10,878	10,128			
	変動費計	円	6,725,345	3,780,332	1,773,754	1,171,261			
固定費	機械	減価償却費	円	1,279,395	711,214	440,520	127,662		
		修繕費	円	333,283	192,904	113,990	26,390		
	施設	減価償却費	円	1,764,286	666,072	999,107	99,107		
		修繕費	円	369,000	137,250	205,875	25,875		
	大植物	減価償却費	円	479,272	119,818	179,727	179,727		
		減価償却費計	円	3,522,953	1,497,104	1,619,354	406,496		
		修繕費計	円	702,283	330,154	319,865	52,265		
	固定費計	円	4,225,236	1,827,258	1,939,219	458,761			
	経営費合計	円	10,950,581	5,607,590	3,712,973	1,630,022			
	限界利益(粗収益-変動費)	円	9,057,955	3,582,868	2,845,646	2,629,439			
	所得	円	4,832,719	1,755,610	906,427	2,170,678			
	10aあたりの所得	円	604,090	877,805	302,142	723,559			
	所得率		30.6%	23.8%	19.6%	57.1%			
	所得+減価償却費	円	8,355,672	3,252,714	2,525,781	2,577,174			
	家族労働1h当たり所得	円	1,263	総労働時間(h)	3,977	家族労働時間(h)	3,826	雇用労働時間(h)	151

5. 資本装備

機械	性能・規格	台数	単価	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円	円		円		円
軽トラック	660cc	1	831,580	831,580	4	207,895	4%	33,263
梱包機		1	308,600	308,600	7	44,086	4%	12,344
ワラ結束機		1	318,600	318,600	7	45,514	4%	12,744
可搬型動力噴霧機	4.7ps	1	300,556	300,556	7	42,937	4%	12,022
換気扇-80	400w、80cm	36	100,000	3,600,000	7	514,286	4%	144,000
温風暖房機-10	10万kcal	2	1,461,370	2,922,740	7	417,534	4%	116,910
サーモ		5	10,000	50,000	7	7,143	4%	2,000
	合計					1,279,395		333,283

建物・施設	構造	規模	取得価格	耐用年数	減価償却費	修繕費率	修繕費
			円		円		円
パイプハウス		50a	15,000,000	10	1,500,000	2%	300,000
倉庫・作業舎	木造	50㎡	3,000,000	15	200,000	2%	60,000
かん水施設	塩化ビニル	80a	450,000	7	64,286	2%	9,000
	合計				1,764,286		369,000

大植物	品種	栽培面積	取得価格	耐用年数	減価償却費
		a	円		円
イチジク	柘井ドーフィン	80	5,272,000	11	479,272
	合計				479,272

(2) 作業別作業手段、労働時間等

1 かき(富有:露地)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	2~3月	動力	16	1	16	0.64時間×25本 動力剪定機
		人力	-	1	3	剪定枝処理 3時間
摘らい	5月	人力	-	1	20	0.8時間×25本
摘果	7月下~8月上		-	1	13	0.52時間×25本(夏期剪定含む)
施肥	1月上	人力	-	1	2	土づくり
	3月上		-	1	2	元肥
防除	3月~9月	動力	4	1	4	スピードスプレーヤー 0.5時間×8回
除草	4月下	動力	1	1	1	除草剤
	7月中、9月		1	1	1	乗用モア 0.5時間×2回
かん水	7月上~9月上	動力	20	1	1	スプリンクラー 1時間×20回
収穫	11月上~11月下	人力	-	1	35	2,300kg÷65kg/時間
運搬		動力	3	1	3	
その他	周年	人力	-	1	5	園内見回り、支柱立て等
計			45		106	

## 2 かき(刀根早生:露地)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	1~2月	動力	19	1	19	0.76時間×25本 動力剪定機
		人力	-	1	3	剪定枝処理 3時間
摘らい	4月中~5月上	人力	-	1	31	1.24時間×25本
摘果	7月		-	1	18	0.72時間×25本 (夏期剪定含む)
施肥	1月上	人力	-	1	2	土づくり
	3月上		-	1	2	元肥
防除	4月~9月	動力	3	1	3	スピードスプレーヤー 0.5時間×6回
除草	4月下	動力	1	1	1	除草剤
	7月中、9月		1	1	1	乗用モア 0.5時間×2回
かん水	7~8月	動力	20	1	1	スプリンクラー 1時間×20回
収穫 運搬	9月中~10月中	人力	-	1	48	3,000kg÷62kg/時間
		動力	4	1	4	
その他	周年	人力	-	1	4	園内見回り、支柱立て等
計			48		137	

### 3 かき(刀根早生:普通加温)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	1月上・中	動力	19	1	19	0.32時間×60本
		人力	-		3	剪定枝処理 3時間
摘らい	3月	人力	-	1	25	0.42時間×60本
摘果	5月		-		10	0.17時間×60本 (夏期剪定含む)
施肥	12月中	動力	1	1	1	
		人力	-	1	4	
防除	3月下 4月下 5月中 6月中 7月上	動力	3	1	3	スピードスプレー 0.5時間×5回
除草	4月、7月	動力	3	1	3	除草剤 1.5時間×2回
ビニル被覆	1月中	人力	-	4	40	10時間×4人
ビニル除去	9月中	人力	-	2	10	5時間×2人
誘引	5月下～6月中	人力	-	1	20	
かん水	3～9月	動力	35	1	4	1時間×35回
収穫	8～9月上	人力	-	1	56	3,500kg÷62kg/時間
運搬		動力	5	1	5	
その他	周年	人力	-	1	12	園内見回り、棚補修等
計			66		215	

#### 4 かき(刀根早生:早期加温)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12月	動力	19	1	19	0.32時間×60本
		人力	-		3	剪定枝処理 3時間
摘らい	2月	人力	-	1	25	0.42時間×60本
摘果	4月				10	0.17時間×60本 (夏期剪定含む)
施肥	12月上	動力	1	1	1	
		人力	-	1	4	
防除	2月中 3月下 4月中 5月中 6月中	動力	3	1	3	スピードスプレーヤー 0.5時間×5回
除草	4月、6月	動力	3	1	3	除草剤 1.5時間×2回
ビニル被覆	12月中	人力	-	4	40	10時間×4人
ビニル除去	9月上	人力	-	2	10	5時間×2人
誘引	5月下～6月中	人力	-	1	20	
かん水	2～8月	動力	40	1	4	1時間×40回
収穫	7～8月	人力	-	1	48	3,000kg÷62kg/時間
運搬		動力	6	1	6	
その他	周年	人力	-	1	12	園内見回り、棚補修等
計			72		208	

5 うめ

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12月	動力	16	1	16	0.8時間×20本 動力剪定機
		人力	—	1	2	剪定枝処理 2時間
施肥	12月	人力	—	1	5	
防除	3月下	動力	2	1	2	スピードスプレー 0.5時間×3回
	4月下					
	5月中					
除草	4月上	動力	3	1	3	草刈機 3時間×1回
	5月下		2	1	2	除草剤 2時間×1回
収穫	6月	人力	—	1	46	1,800kg÷39kg/時間
運搬		動力	2	1	2	
その他	周年	人力	—	1	1	園内見回り等
計			25		79	



6 なし(幸水・豊水:無袋)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定 誘引 結束 芽かき	12～3月	人力	—	1	70	剪定 18時間(0.55時間×33本) 誘引・結束 43時間 芽かき 1時間 剪定枝処理 8時間
受粉	4月中	人力	—	1	10	受粉作業 5時間×2回
		動力	2	1	2	花粉採取調整 2時間
摘蕾・摘果	4～6月	人力	—	1	62	摘蕾 12時間 予備摘果 38時間 本摘果・仕上げ摘果 12時間
施設管理	周年	人力	—	1	5	棚修理、網張りなど
施肥	5月 9月 11月 12月	人力	—	1	10	施肥、堆肥散布
		動力	4	1	4	管理機浅耕 4時間
防除	3～12月	人力	—	1	6	黄色灯設置・除去 4時間 コンピューターN設置 2時間
		動力	10	1	10	スピードスプレヤー 0.5時間×20回
敷きわら・夏管理	3月、7月	人力	—	1	21	敷きわら 8時間 夏期剪定・誘引 13時間
除草	5～8月	動力	6	1	6	草刈機 3時間×2回
かん水	7～8月	人力	15	1	2	3時間×5回
収穫	8月中～9月中	人力	—	1	80	収穫・運搬 3,000kg÷67kg/時間 45時間
		動力	15	1	15	選果・荷造り等 50時間
計			52		303	

7 なし(幸水・豊水:有袋)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12～3月	動力	18	1	18	剪定 18時間 (0.55時間×33本) 動力剪定機
誘引 結束 芽かき		人力	-	1	52	誘引・結束 43時間 芽かき 1時間 剪定枝処理 8時間
受粉	4月中	人力	-	1	10	受粉作業 5時間×2回
		動力	2	1	2	花粉採取調整 2時間
摘蕾・摘果	4～6月上	人力	-	1	62	摘蕾 12時間 予備摘果 38時間 本摘果・仕上げ摘果 12時間
施設管理	周年	人力	-	1	5	棚修理、網張りなど
施肥	5月 9月 11月 12月	人力	-	1	10	施肥、堆肥散布
		動力	4	1	4	管理機浅耕 4時間
防除	3～12月	人力	-	1	4	黄色灯設置・除去 4時間
		動力	10	1	10	スピードスプレーヤー 0.5時間×20回
袋かけ	6月中～下	人力	-	1	52	大袋 1.58時間×33本
夏管理	7月	人力	-	1	13	夏期剪定・誘引 13時間
除草	5月～8月	動力	1	1	1	乗用モア 0.5時間×2回
かん水	7～8月	人力	15	1	2	スプリンクラー 3時間×5回
収穫	8月中～9月中	人力	-	1	80	収穫 3,000kg÷67kg/時間 45時間 選果・荷造り等 50時間
		動力	15	1	15	
計			65		340	

8 なし(二十世紀:有袋)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12~3月	動力	18	1	18	剪定 18時間 (0.55時間×33本)
誘引 結束 芽かき		人力	-	1	46	誘引 37時間 芽かき 1時間 剪定枝処理 8時間
受粉	4月中	人力	-	1	10	受粉作業 5時間×2回
		動力	2	1	2	花粉採取調整 2時間
摘蕾	4月上	人力	-	1	8	
摘果	5月上、中		-	1	50	予備摘果 38時間 本摘果・仕上げ摘果 12時間
施設管理	周年	人力	-	1	5	棚修理、網張りなど
袋かけ	5月上、中	人力	-	1	26	小袋 0.79時間×33本
	5月下~6月上		-	1	52	大袋 1.58時間×33本
施肥	6、12月	人力	-	1	8	トラクターによる溝状深耕と 有機物施用
		動力	7	1	7	
防除	3~12月	動力	10	1	10	スピードスプレーヤー 0.5時間×20回
夏管理	7月	人力	-	1	13	夏期剪定・誘引 13時間
除草	5月~8月	動力	1	1	1	乗用モア 0.5時間×2回
かん水	7~8月	人力	15	1	2	スプリンクラー 3時間×5回
収穫	9月	人力	-	1	80	収穫・運搬 3,000kg÷67kg/時間 45時間 選果・荷造り等 50時間
		動力	15	1	15	
計			68		353	

9 ぶどう(デラウェア:無加温) 市場出荷主体

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12月	人力	—	1	16	0.8時間×20本
ビニル被覆	1月	人力	—	2	16	準備 8時間×2人
			—	4	16	外張り 4時間×4人
			—	2	8	内張り 4時間×2人
施設管理	周年	人力	—	1	30	換気、網張り、同除去など
ホルモン処理	4月	人力	—	1	40	1時間×20本×2回
芽かき・誘引	3～6月	人力	—	1	30	摘心含む
摘房・摘粒	5月	人力	—	1	15	摘房 5時間 摘粒 10時間
袋かけ	5月下	人力	—	1	2	換気時降雨あたる箇所のみ
被覆除去	8月	人力	—	2	6	3時間×2人
施肥	10～11月	人力	—	1	4	施肥 4時間 堆肥施用 4時間×2人
		動力	4	2	8	
防除	4月～5月 9月～10月	動力	9	2	18	動噴 1.5時間×2人×6回
除草	5、8月	動力	6	1	6	草刈機 3時間×2回
かん水	3月～7月	動力	18	1	2	スプリンクラー 3時間×6回
収穫	7月	人力	—	1	100	収穫 30時間 (1,500kg÷50kg/時間) 調整・荷造り 60時間 出荷 12時間
運搬		動力	2	1	2	
計			39		319	

10 ぶどう(デラウェア:普通加温) 市場出荷主体

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	11~12月	人力	—	1	16	0.8時間×20本
ビニル被覆	1月	人力	—	2	16	準備 8時間×2人
			—	4	16	外張り 4時間×4人
			—	2	8	内張り 4時間×2人
施設管理	周年	人力	—	1	40	換気、暖房機管理など
ホルモン処理	4月	人力	—	1	40	1時間×20本×2回
芽かき・誘引	2~3月	人力	—	1	30	摘心含む
摘房・摘粒	3、5月	人力	—	1	15	摘房 5時間 摘粒 10時間
被覆除去	7月	人力	—	2	6	3時間×2人
施肥	10~11月	人力	—	1	4	施肥 4時間 堆肥施用 4時間×2人
		動力	4	2	8	
防除	3月~9月	動力	9	2	18	動噴 1.5時間×2人×6回
除草	4月~8月	動力	6	1	6	草刈機 3時間×2回
かん水	2~5月	動力	18	1	2	スプリンクラー 3時間×6回
収穫	5~6月	人力	—	1	100	収穫 30時間 (1,500kg÷50kg/時間) 調整・荷造り 60時間 出荷 12時間
運搬		動力	2	1	2	
計			39		327	

## 11 ぶどう(巨峰:無加温) 直売主体

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12月	人力	—	1	16	1.6時間×10本
ビニル被覆	1月	人力	—	2	16	準備 8時間×2人
			—	4	16	外張り 4時間×4人
			—	2	8	内張り 4時間×2人
施設管理	周年	人力	—	1	30	換気、網張り、同除去
芽かき・誘引	3～5月	人力	—	1	40	芽かき14時間 誘引26時間
摘房・房づくり 摘粒	5～6月	人力	—	1	64	摘房・房づくり 16時間 摘粒 48時間
ホルモン処理	5月	人力	—	1	30	
袋掛け	6月	人力	—	1	16	
被覆除去	6月、8月	人力	—	1	12	外張り 6時間 内張り 6時間
施肥	5、9月 10～11月	人力	—	1	4	施肥 4時間
		動力	4	2	8	堆肥施用 4時間×2人
防除	3月～10月	動力	12	2	24	動噴 1.5時間×2人×8回
除草	3、7月	動力	6	1	6	草刈機 3時間×2回
かん水	3月～7月	動力	24	1	2	スプリンクラー 3時間×8回
収穫	7月下～8月	人力	—	1	95	収穫 20時間 (1,400kg÷70kg/時間)
運搬		動力	5	1	5	選果・調整・箱詰め 50時間 出荷 30時間
その他	周年	人力	—	1	2	芽傷処理等
計			51		394	

12 ぶどう(巨峰:普通加温) 直売主体

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12月	人力	—	1	16	1.6時間×10本
ビニル被覆	1月	人力	—	2	16	準備 8時間×2人
			—	4	16	外張り 4時間×4人
			—	2	8	内張り 4時間×2人
施設管理	周年	人力	—	1	40	換気、網張り、同除去、 暖房機管理など
芽かき・誘引	2~4月	人力	—	1	40	芽かき 14時間 誘引 26時間
摘房・房づくり 摘粒	3~4月	人力	—	2	64	摘房・房づくり 16時間 摘粒 48時間
ホルモン処理	3月	人力	—	1	30	
袋掛け	5月	人力	—	1	16	
被覆除去	4、7月	人力	—	1	12	外張り 4時間 内張り 8時間
施肥	4、8月 10~11月	人力	—	1	4	施肥 4時間
		動力	4	2	8	堆肥施用 4時間×2人
防除	2月~9月	動力	12	2	24	動噴 1.5時間×2人×8回
除草	4、8月	動力	6	1	6	草刈機 3時間×2回
かん水	2~5月	動力	24	1	2	スプリンクラー 3時間×8回
収穫	6月	人力	—	1	95	収穫 20時間 (1,400kg÷70kg/時間)
運搬		動力	5	1	5	選果・調整・箱詰め 50時間 出荷 30時間
その他	周年	人力	—	1	2	芽傷処理等
計			51		404	

13 うんしゅうみかん

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	3月	人力	—	1	28	0.4時間×60本 剪定枝処理 4時間
摘果	6月中・下	動力	1	2	2	薬剤摘果 1時間×2人
	7～9月	人力	—	1	10	摘果 10時間
施肥	3月	動力	5	1	6	中耕含む
	11月	人力	—	1	2	
防除	3～10月	動力	7.5	2	15	動噴 1.25時間×2人×6回
除草	4月、7月	動力	4	1	4	除草剤 2時間×2回
	9月		3	1	3	草刈機 3時間×1回
収穫	10月中～12月	人力	—	1	64	収穫 37時間 (2,800kg÷75kg/時間)
運搬		動力	2	1	2	運搬 2時間 荷造り 8時間 出荷 19時間
その他	周年	人力	—	1	3	園内見回り等
計			22.5		139	



14 もも

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	2月下～3月	動力	16	1	16	0.44時間×36本 16時間 動力剪定機
		人力	-	1	2	剪定枝処理 2時間
摘らい	3月中・下	人力	-	1	18	
摘果	5月中・下	人力	-	1	20	12時間 (1回目) 8時間 (2回目)
袋かけ	5月下～6月上	人力	-	1	80	12,000袋÷150袋/時間
施肥	3月	人力	-	1	2	
	9月	人力	-	1	2	
	11月	動力	6	1	6	堆肥、中耕
防除	3～10月	動力	4	1	4	スピードスプレー 0.5時間×8回×1人
除草	3、7、9月	動力	3	1	3	乗用モア 1時間×3回
除袋	7月上～8月上	人力	-	1	15	12,000袋÷800袋/時間
収穫 運搬	7月上～8月上	人力	-	1	75	収穫 55時間 2,200kg÷40kg/時間 荷造り 16時間
		動力	2	1	2	出荷 4時間 運搬 2時間
その他	周年	人力	-	1	4	園内見回り、支柱立て
計			31		249	

15 すもも

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	1月	動力	36	1	36	剪定 1.0時間×30本 動力剪定機 誘引等 0.2時間×30本
防除	2～9月	動力	4	1	4	スピードスプレー 0.5時間×8回
施肥	3、8、12月	人力	—	1	6	土づくり 2時間×1回 元肥、追肥 2時間×2回
除草	4～8月	動力	8	1	8	除草剤 2時間×1回 草刈機 3時間×2回
受粉	3～4月	人力	—	1	6	2時間×3回
摘果	4～5月	人力	—	1	20	
新梢管理	5～6月	人力	—	1	12	0.2時間×30本×2回
傘かけ	5～6月	人力	—	1	23	貴陽のみ 4500果÷200果/時間
かん水	7～8月	動力	1	1	1	スプリンクラー 0.5時間×2回
収穫 運搬	6～7月	人力 動力	— 10	1 1	68 10	収穫 1,500kg÷35kg/時間 43時間 調整 2.5時間×10回 25時間 運搬等 1時間×10回 10時間
園内整備	周年	人力	—	1	10	防鳥網設置・除去 8時間 園地巡回等 0.5時間×4回 2時間
計			59		204	

16 キウイフルーツ

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12月	動力	20	1	20	0.67時間×30本 動力剪定機
		人力	—	1	7	剪定枝処理 7時間
芽かき	4月下	人力	—	1	10	
人工授粉	5月	人力	—	1	10	液体受粉 30,000個÷3,000個/時間
摘果	6月	人力	—	1	20	0.33時間×30本×2回
ホルモン処理	6月中	人力	—	1	8	フルネット 25,000果÷3,000果/時間
新梢管理 ・誘引	6~7月	人力	—	1	24	摘心
施肥	12月中・下	人力	—	1	3	
防除	4月下 7月上 8月下	動力	2	1	2	スピードスプレー 0.5時間×3回
除草	7月下	動力	1	1	1	除草剤
かん水	7~8月	動力	15	1	1	スプリンクラー 3時間×5回
収穫	11月~2月	人力	—	1	32	収穫 3,200kg÷144kg/時間 調整 1時間×10回出荷
運搬		動力	2	1	2	
その他	周年	人力	—	1	6	園内見回り、棚補修等
計			40		146	

17 おうとう

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
整枝・剪定	2月下～3月中	人力	—	1	18	整枝剪定 15時間 (0.42時間×36本) 剪定枝処理 3時間
ビニル被覆	3月下～4月上	人力	—	4	38	9.5時間×4人
人工授粉	4月上・中	人力	—	2	40	
摘果	5月上・中	人力	—	1	30	
着色管理	5月中・下	人力	—	2	16	マルチ 4時間 摘葉 12時間
新梢管理	5～7月	人力	—	1	24	
施肥	7、10月	人力	—	1	4	
防除	4～8月	動力	11	2	21	動噴 1.5時間×2人×7回
除草	4、8月	動力	4	1	4	除草剤 2時間×2回
	7月	動力	3	1	3	草刈機 3時間×1回
施設管理	周年	人力	—	1	11	施設開閉 2時間 施設補修等 9時間
収穫・調整	5月下～6月中	人力	—	2	259	収穫 200時間 500kg÷2.5kg/時間 選別・荷造り 50時間 運搬 9時間
被覆除去	7月中・下	人力	—	4	16	4時間×4人
かん水	7月上～9月上	人力	—	1	3	
その他	周年	人力	—	1	3	園内見回り
計			18		490	

18 いちじく(露地)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	2月	人力	—	1	30	剪定 14時間 (0.18時間×80本) 剪定枝処理 16時間
芽かき 摘芯 誘引	4~8月	人力	—	1	32	芽かき 8時間 摘芯 6時間 誘引 18時間
ホルモン処理	8~10月上	人力	—	1	40	葉かきも同時に行う
施肥	1~2月、6~8月	人力	—	1	11	堆肥施用 6時間 元肥 2時間 追肥 1時間×3回
防除	1~9月	動力	11	2	22	動噴 1時間×2人×11回 (除草剤含む)
敷きわら	4月	人力	—	1	32	
かん水	7~9月	人力	—	1	9	36回(かん水チューブ利用)
収穫 調整 運搬	8~10月	人力	—	1	237	収穫 135時間 (2,700kg÷20kg/時間) 調整 113時間 (2,700kg÷24kg/時間)
		動力	26	1	26	出荷 15時間 (2,700kg÷180kg/時間)
その他	周年	人力	—	—	8	園内見回り、網張り等
計			37		447	

19 いちじく(無加温)

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	12月	人力	—	1	30	剪定 14時間 (0.18時間×80本) 剪定枝処理 16時間
ビニル被覆	1~2月	人力	—	2	20	10時間×2人
施設管理	2~6月	人力	—	1	14	換気、網張り等
芽かき 摘芯 誘引	3~6月	人力	—	1	32	芽かき 8時間 摘芯 6時間 誘引 18時間
被覆除去	6月	人力	—	2	4	2時間×2人
ホルモン処理	7~8月	人力	—	2	40	葉かきも同時に行う
施肥	2、5~7月	人力	—	1	11	堆肥施用 6時間 元肥 2時間 追肥 1時間×3回
防除	1~9月	動力	11	2	22	動噴 1時間×2人×11回 (除草剤含む)
敷きわら	3月	人力	—	1	32	
かん水	2~9月	人力	—	1	12	48回 (かん水チューブ利用)
収穫 運搬 調整	7~10月	人力	—	1	254	収穫 145時間 (2,900kg÷20kg/時間) 調整 121時間 (2,900kg÷24kg/時間)
		動力	28	1	28	出荷 16時間 (2,900kg÷180kg/時間)
その他	周年	人力	—	—	10	園内見回り等
計			39		509	

## 20 ブルーベリー

作業名	作業時期	作業手段	10aあたり労働時間			作業内容および 算出基礎等
			機械使用 時間	組作業 人員	延べ労働 時間	
剪定	1～2月	人力	—	1	28	剪定 22時間 (0.1時間×225本) 剪定枝処理 6時間
防鳥網設置	5月	人力	—	2	12	防鳥+防鹿ネット
防鳥網除去	10月	人力	—	2	6	
施肥	3、5、9月	人力	—	1	3	
防除	5月	人力	—	1	8	ミノガ捕殺
除草	4月～8月	動力	16	1	16	草刈機 4時間×4回
かん水	7～8月	動力	3	1	1	1時間×3回 (自動かん水)
収穫・調整	7～8月中	人力	—	1	510	収穫 300時間 (850kg÷2.83kg/時間) 調整 210時間
その他	周年	人力	—	1	3	園内見回り、補修等
計			19		587	